

最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

令和5年1月31日

目 次

1 本県の経済概況	2～3
2 主な指標の動き	
(1) 個人消費	4～7
(2) 建設需要	8～10
(3) 生産活動	11～12
(4) 雇用・労働	13～15
(5) 物価	16
(6) 企業・金融	17～18
(7) 市場	19
(8) 中小企業の業況	20
3 主要経済指標	21～27
4 参考	
1 中小企業景気動向調査((公財)福島県産業振興センター)	28～31
2 中小企業景況レポート(福島県中小企業団体中央会)	32～35
3 景気動向指数(福島県)	36
4 福島県金融経済概況(日本銀行福島支店)	37
5 月例経済報告(内閣府)	37
6 「最近の県経済動向」総合判断(福島県)	37

福島県 企画調整部 統計課



1 本県の経済概況

総合判断

前月判断からの
変化方向



県内の景気は、先行きに不透明感がみられるものの、緩やかに持ち直している。

個別判断

概要

(1) 個人消費

判断の変化方向



◆ 持ち直しの動きがみられる。

◆ 百貨店・スーパー販売額 (11月)

全店舗ベースで総額約223億円、対前年同月比0.1%増(既存店前年同月比0.3%減)となり、2か月連続で前年を上回っている。

◆ コンビニエンスストア販売額 (11月)

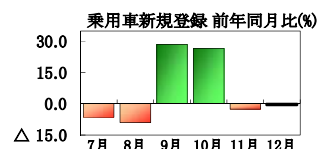
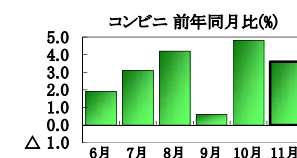
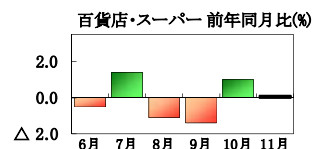
コンビニエンスストア販売額は総額約169億円、対前年同月比3.6%増となり、8か月連続で前年を上回っている。

◆ 専門量販店販売額 (11月)

家電大型専門店は総額約36億円(対前年同月比4.7%減)、ドラッグストアは総額約97億円(同7.4%増)、ホームセンターは総額約56億円(同1.9%減)となっている。

◆ 乗用車新規登録台数 (12月)

新規登録台数は3,939台、対前年同月比0.5%減となり、2か月連続で前年を下回っている。



(2) 建設需要

判断の変化方向



◆ 高水準にあるものの、弱い動きがみられる。

◆ 新設住宅着工戸数 (11月)

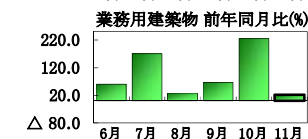
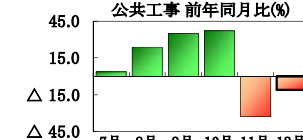
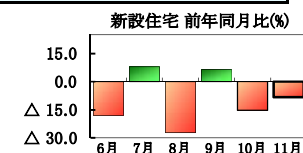
新設住宅着工戸数は719戸、対前年同月比8.3%減となり、2か月連続で前年を下回った。

◆ 公共工事請負金額 (12月)

公共工事請負金額は総額約174億円、対前年同月比11.0%減となり、2か月連続で前年を下回った。

◆ 業務用建築物着工工事費 (11月)

業務用建築物着工工事費は総額約64億円、対前年同月比21.8%増となり、9か月連続で前年を上回っている。



(3) 生産活動

判断の変化方向



◆ 一部に弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている。

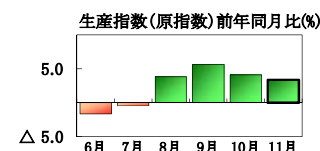
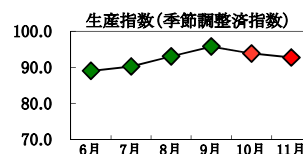
◆ 鉱工業指数 (11月)

鉱工業生産指数・季節調整済指数(速報値)は92.7、対前月比1.2%減となり、2か月連続で前月を下回った。

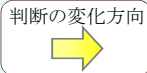
なお、原指数(速報値)は94.9、対前年同月比3.4%増となり、4か月連続で前年を上回った。

鉱工業出荷指数(季節調整済指数・速報値)は93.5、対前月比0.6%減となり、2か月連続で前月を下回った。

鉱工業在庫指数(季節調整済指数・速報値)は121.4、対前月比2.6%減となり、3か月振りに前月を下回った。



(4) 雇用・労働



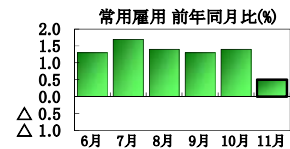
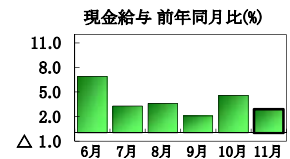
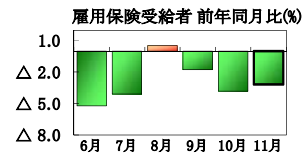
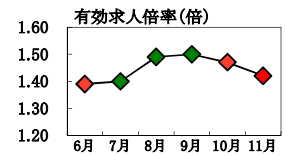
◆ 緩やかな改善が続いている。

◆ 求人倍率 (11月)

新規求人倍率は2.23倍(季節調整値)、前月から0.08ポイント増加し、3か月振りに前月を上回っている。

有効求人倍率は1.42倍(季節調整値)、前月から0.05ポイント減少し、2か月連続で前月を下回っている。

なお、有効求職者は20か月連続で前年を上回り、有効求職者数は2か月連続で前年を下回っている。



◆ 雇用保険受給者実人員 (11月)

雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員は5,926人、対前年同月比3.2%減となり、3か月連続で前年を下回っている。

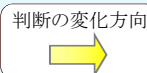
◆ 労働 (11月)

現金給与総額指数は91.0(事業所規模5人以上)、対前年同月比2.9%増となり、12か月連続で前年を上回っている。

所定外労働時間指数は126.6、対前年同月比9.1%増となり、20か月連続で前年を上回っている。

常用雇用指数は99.2、対前年同月比0.5%増となり、8か月連続で前年を上回っている。

(5) 物 価

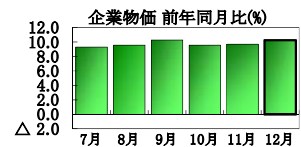


◆ 企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。

◆ 国内企業物価指数 (12月)

物価指数は119.5(速報値)、対前年同月比10.2%増となり、22か月連続で前年を上回っている。

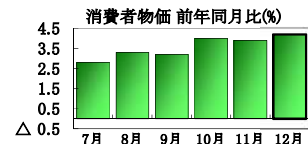
なお、対前月比は0.5%増となっている。



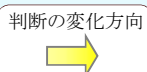
◆ 福島市消費者物価指数 (12月)

物価指数は104.1、対前年同月比4.2%増となり、14か月連続で前年を上回っている。

なお、対前月比は0.2%増となっている。



(6) 企業・金融

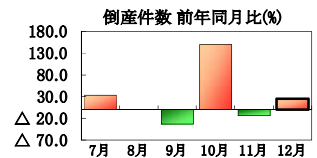


◆ 企業倒産件数、負債総額はともに前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。

◆ 企業倒産 (12月)

倒産件数は5件、対前年同月比25.0%増となり、2か月振りに前年を上回った。

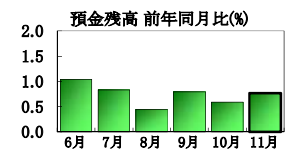
負債総額は6億6,800万円、対前年同月比32.8%増となり、3か月連続で前年を上回った。



◆ 金融機関預貸残高 (11月)

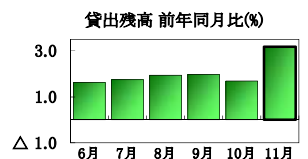
預金残高は10兆2,447億円、対前年同月比0.8%増となり、令和元年6月以降、前年を上回る動きが続いている。

貸出残高は4兆8,368億円、対前年同月比3.2%増となり、平成25年6月以降、前年を上回る動きが続いている。



◆ 貸出約定平均金利 (11月)

平均金利は0.700%となり、対前月差0.010ポイント下降し、2か月連続で前月を下回った。

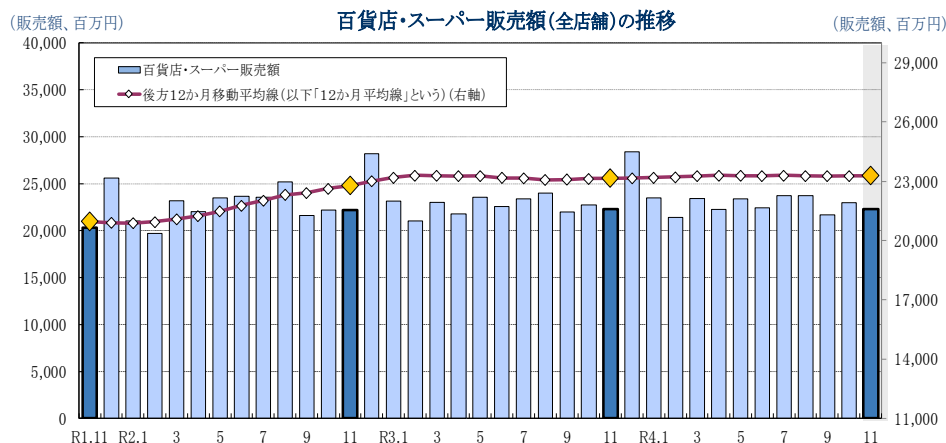


※備考 指標名の色について、前年と比較(鉱工業指数及び求人倍率については、前月と比較)して、改善している指標は緑字、悪化している指標は赤字、同水準である、または個別には判断のつかない指標は灰色で表しています。

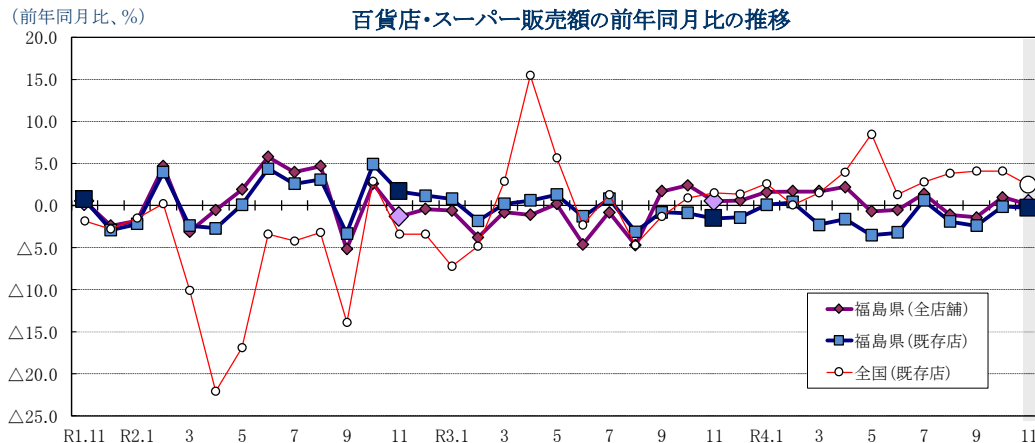
2 主な指標の動き

(1) 個人消費

◆ 百貨店・スーパー販売額(11月)は全店舗ベースで総額約223億円、対前年同月比0.1%増となり、2か月連続で前年を上回っている。
 なお、百貨店・スーパー販売額の既存店ベースは同0.3%減となっている。



(資料 経済産業省)



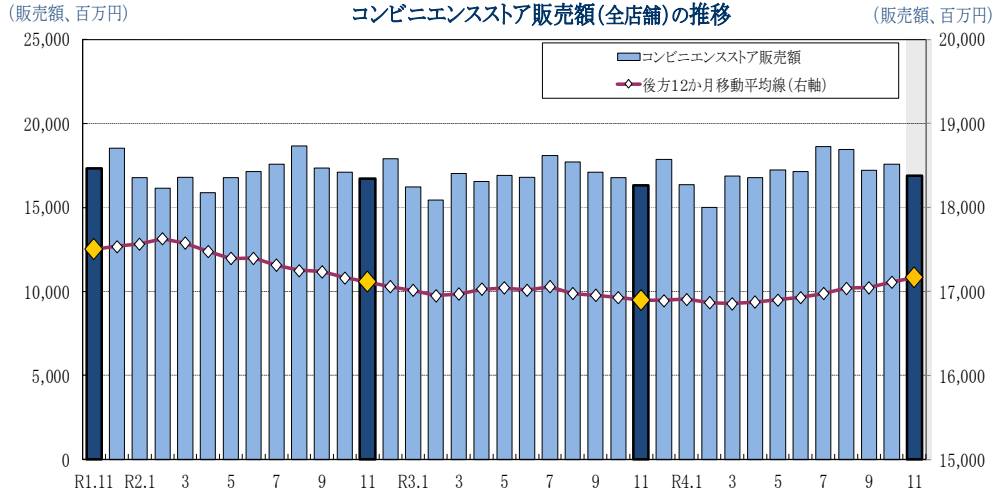
(資料 経済産業省)

【百貨店・スーパー販売額(旧大型小売店販売額)】

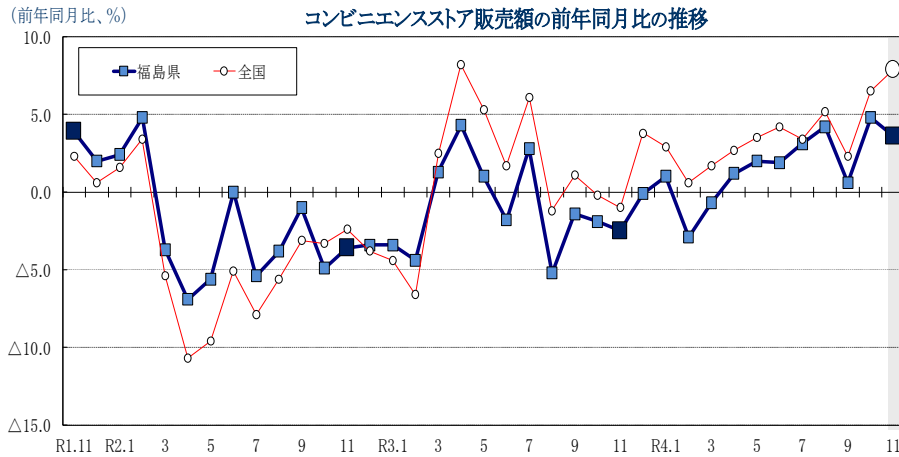
調査対象となる百貨店2店とスーパー119店(11月末現在)の総販売金額です。既存店ベースの前年同月比とは、前年同月も調査の対象であった店舗のみを比較するものです。過去1年間に開・廃業した店舗の販売額は除かれているので、前年と同一条件で消費動向をみることができます。

なお、令和2年3月分から、調査対象事務所の見直しを行ったため、令和2年2月分以前の月間販売額などとの間に不連続が生じています。前年(同期、同月)比は、ギャップ調整のためリンク係数で処理した数値で計算しています。

◆ コンビニエンスストア販売額(11月)は総額約169億円、対前年同月比3.6%増となり、8か月連続で前年を上回っている。



(資料 経済産業省)

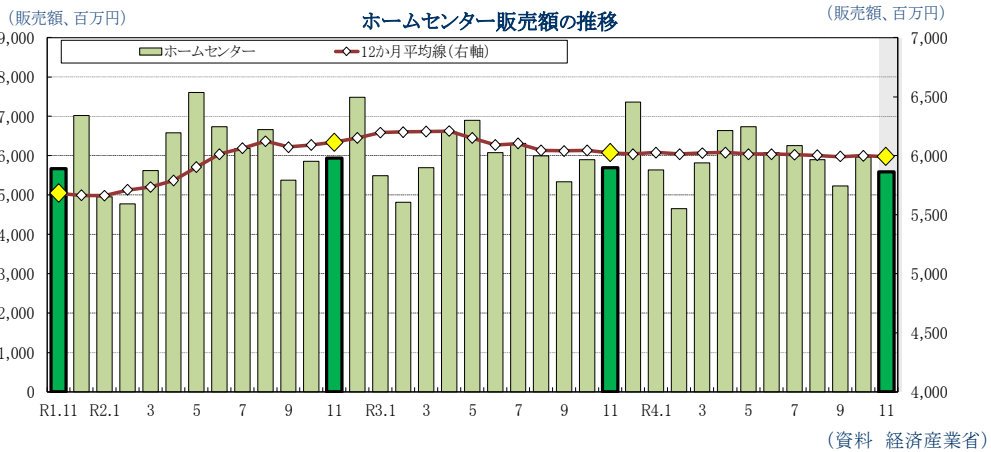
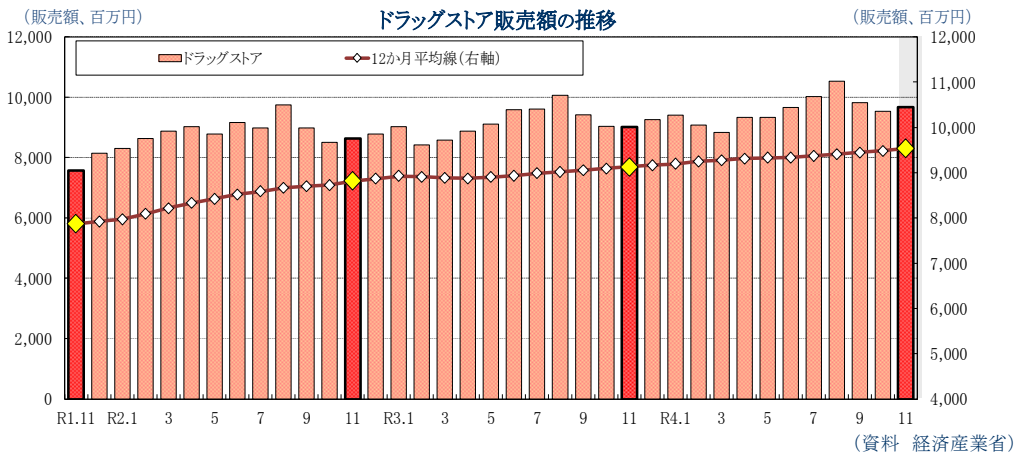
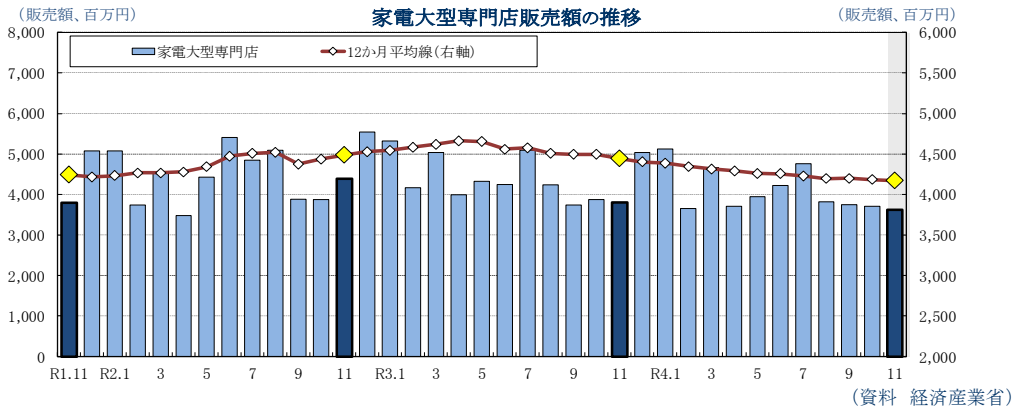


(資料 経済産業省)

【コンビニエンスストア販売額】

商業動態統計の業態別販売額では、百貨店・スーパー販売額に次ぐ規模であり、平成27年7月分から都道府県別に販売額が公表となりました。店舗数は百貨店・スーパーに比べ約8倍となっており、消費者に身近な店舗として存在感を増してきています。

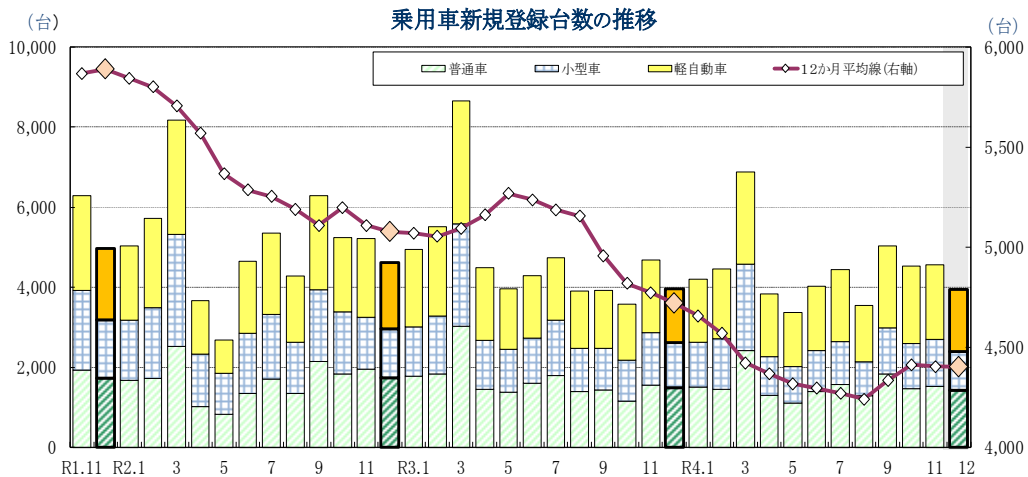
◆ 専門量販店販売額(11月)は家電大型専門店が総額約36億円、対前年同月比4.7%減となり、2か月連続で前年を下回った。
 ドラッグストアは総額約97億円、対前年同月比7.4%増となり、19か月連続で前年を上回った。
 ホームセンターは総額約56億円、対前年同月比1.9%減となり、2か月振りに前年を下回った。



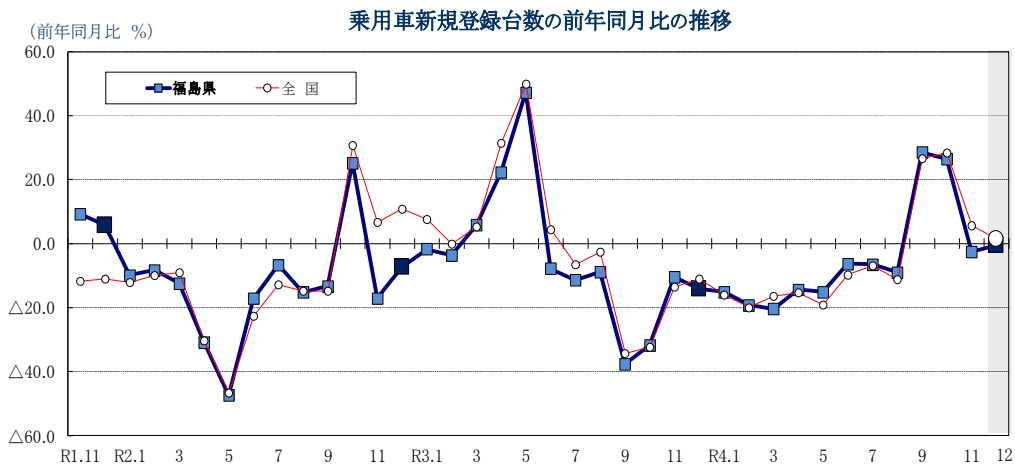
【専門量販店販売額】

家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター販売額は、平成26年1月分から「専門量販店販売統計」として開始された統計です。家電大型専門店は比較的高額な耐久財を扱っていたり、ドラッグストアやホームセンターは家庭用品や日用雑貨等多品目を扱っていたりと消費者の生活に合わせた商品を販売しているため、消費動向をみる上で注目される指標となってきました。

◆ 乗用車新規登録台数(12月)は3,939台、対前年同月比0.5%減となり2か月連続で前年を下回っている。
 内訳をみると、普通・小型車では前年を下回り、軽自動車では前年を上回った。



(資料 東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)



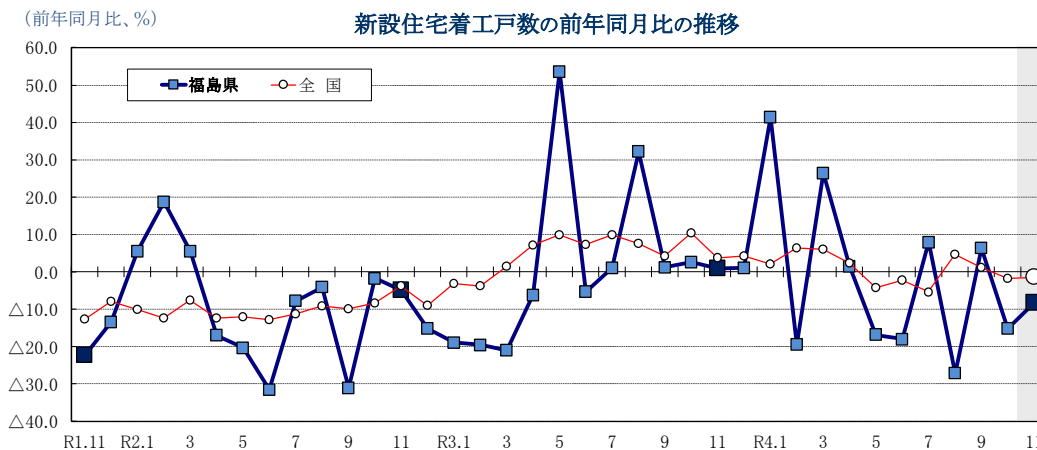
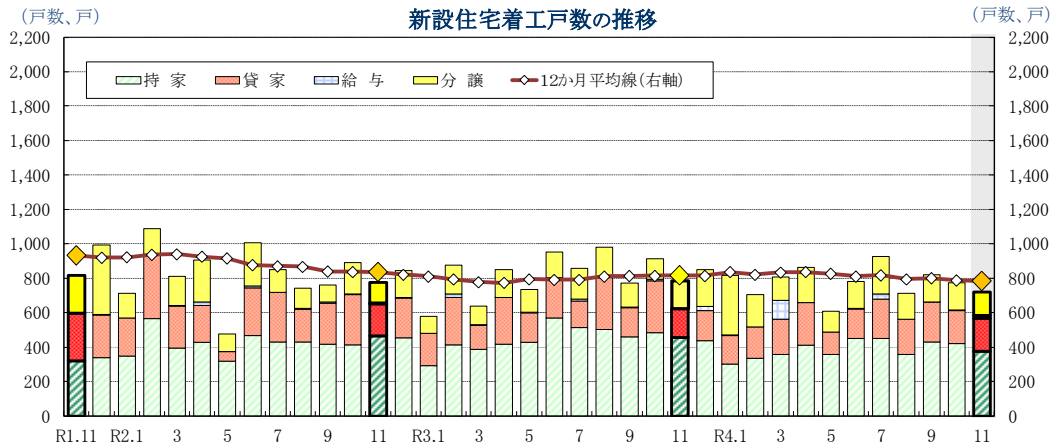
(資料 東北運輸局、全国軽自動車協会連合会)

【乗用車新規登録台数】

乗用車の購入により、運輸支局及び軽自動車検査協会に登録された台数です。耐久消費財の販売動向を消費側からとらえた統計です。自動車を購入した際には必ず登録をするため網羅性があり、速報性もあります。3月や9月の決算期には台数が多くなるなど、顕著な季節性があります。

(2) 建設需要

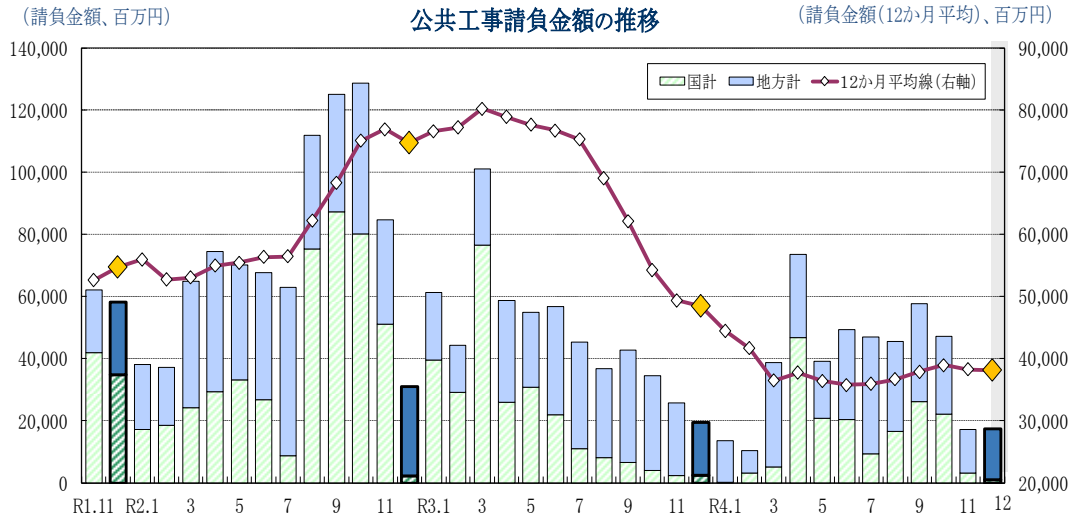
◆新設住宅着工戸数(11月)は719戸、対前年同月比8.3%減となり、2か月連続で前年を下回った。



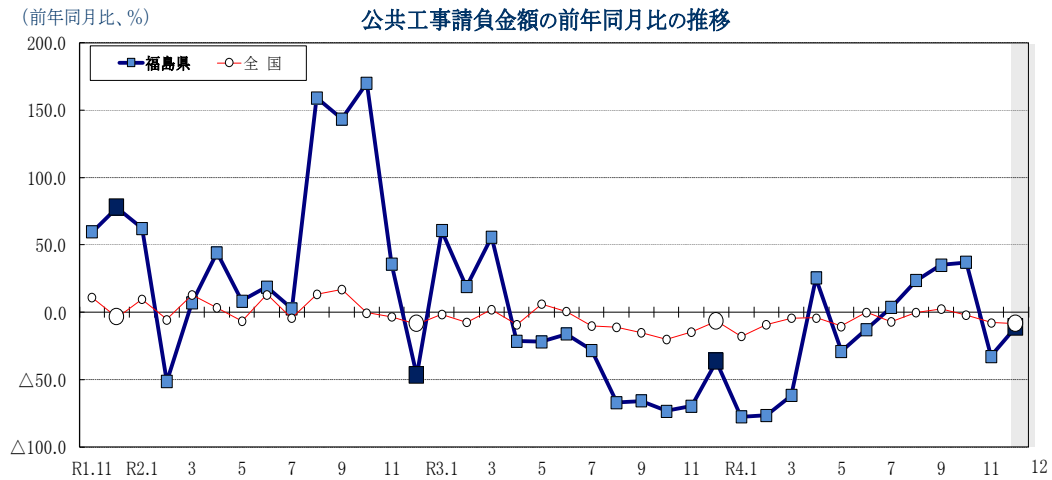
【新設住宅着工戸数】

家やマンションを建てる時に、建築主から都道府県知事にその旨を届けた戸数を集計したもので、住宅投資の動きを示す代表的な指標です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。所得・地価・建築費・金利などに敏感に反応して動きます。また、政府の景気対策で「住宅ローン減税」のような政策の影響も受けます。

◆ **公共工事請負金額(12月)**は総額約174億円、対前年同月比**11.0%減**となり、**2か月連続**で前年を下回った。
 内訳をみると、国の機関は5か月振りに前年を下回り、地方の機関は4か月連続で前年を下回っている。



(資料 東日本建設業保証株式会社)

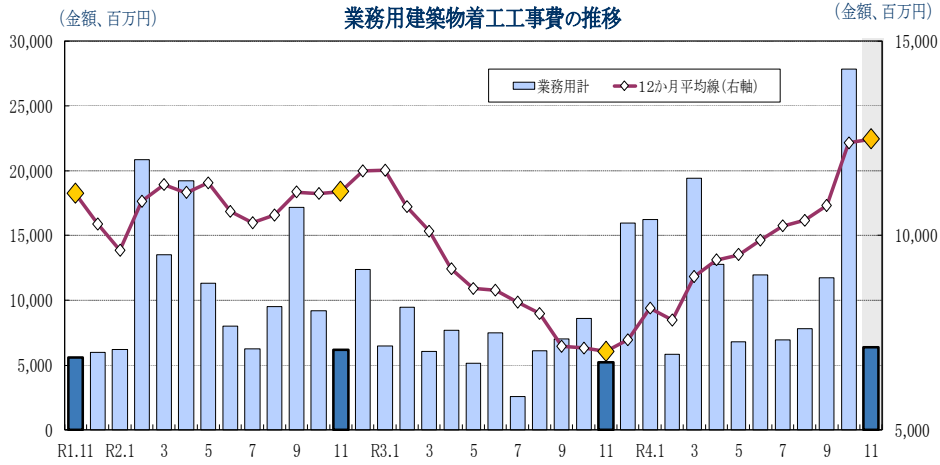


(資料 東日本建設業保証株式会社)

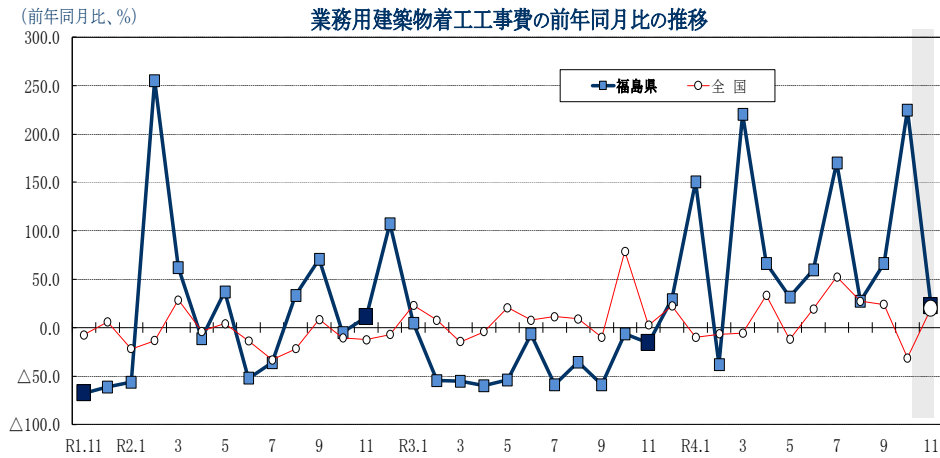
【公共工事請負額】

国、地方公共団体、独立行政法人等が発注した公共工事のうち、保証事業会社の保証による公共工事について、保証事業会社が請負金額を取りまとめて集計したもので、発注者ごとに分かります。

◆ 業務用建築物着工工事費(11月)は総額約64億円、対前年同月比21.8%増となり、9か月連続で前年を上回っている。



(資料 国土交通省)



(資料 国土交通省)

【業務用建築予定金額】

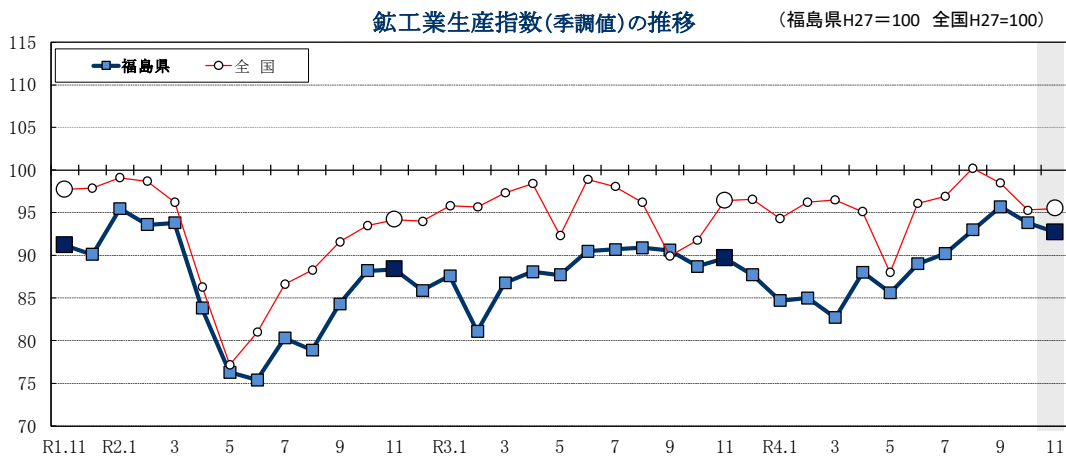
建築主が建築物を建築しようとする場合は、その旨を都道府県知事に届けなければならない。この届出をもとに集計したものが建築物着工統計です。進捗ベースではなく、着工ベースの指標のため速報性があります。「業務用」とは、全建築物から居住専用と居住産業併用を除いたもので、企業の設備投資を反映します。

(3) 生産活動

◆ **鉱工業生産指数(11月)**は季節調整済指数**92.7**(速報値)、対前月比**1.2%減**となり、**2か月連続**で前月を下回った。業種別にみると、19業種のうち化学工業、食料品工業などの11業種で前月を上回ったものの、輸送機械工業、汎用・生産用・業務用機械工業などの8業種で前月を下回った。
 なお、**原指数**は**94.9**(速報値)、対前年同月比**3.4%増**となり、**4か月連続**で前年を上回った。

◆ **鉱工業出荷指数(11月)**は季節調整済指数**93.5**(速報値)、対前月比**0.6%減**となり、**2か月連続**で前月を下回った。業種別にみると、19業種のうち、輸送機械工業、電気機械工業などの7業種で前月を下回った。
 なお、**原指数**は**95.9**(速報値)、対前年同月比**5.0%増**となり、**5か月連続**で前年を上回った。

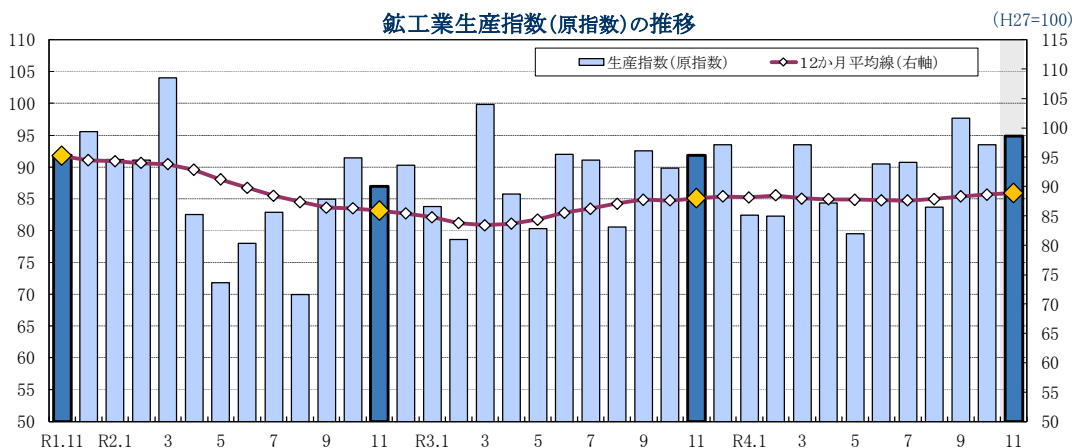
◆ **鉱工業在庫指数(11月)**は季節調整済指数**121.4**(速報値)、対前月比**2.6%減**となり、**3か月振り**に前月を下回った。
 なお、**原指数**は**118.7**(速報値)、対前年同月比**13.3%増**となり、**10か月連続**で前年を上回った。



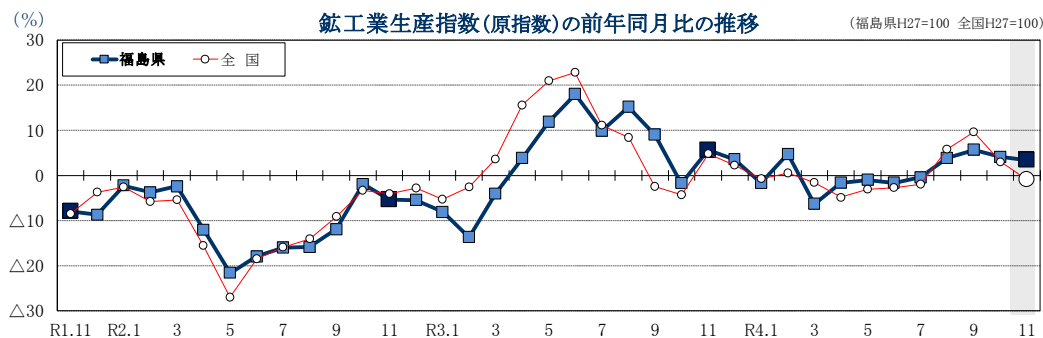
(資料 経済産業省、福島県統計課)

【鉱工業指数】

鉱工業製品の生産量、出荷量、在庫量を基準年を100として(平成27年=100)指数化したものです。好況時にはモノがよく売れ、企業が製品を増産するため生産、出荷とも上昇します。景気が悪化してくるとモノが売れなくなるため出荷の減少、在庫の増加局面を経て生産の減少に至ります。



(資料 福島県統計課)



(資料 経済産業省、福島県統計課)

【原指数と季節調整済指数】

鉱工業指数の原指数は、指数作成用データをそのまま指数化したもので、大型連休や決算期等の季節的要因の影響を受けて、毎年一定の変動を繰り返しています。長期的な動向をみる場合は、主に原指数の前年同月比が使用されます。

一方、季節調整済指数は、原指数から季節的要因を取り除き、毎月同じ基準で指数の動きがみられるようになっており、直近の動向をみる場合は、主に季節調整済指数の前月比が使用されます。

【前月比と前年同月比】

前年の同じ月と比較した増減を示す「前年同月比」は量的水準の変動を示し、前月と比較した増減を示す「前月比」は直近の変化方向(瞬間風速)を示します。経済統計には季節性を持つものがあり、単純に前月と比較できない場合があるので、季節調整値で前月比を求める場合と、季節性のない統計(例:金利等)では季節調整をかけずに前月比をとる場合があります。

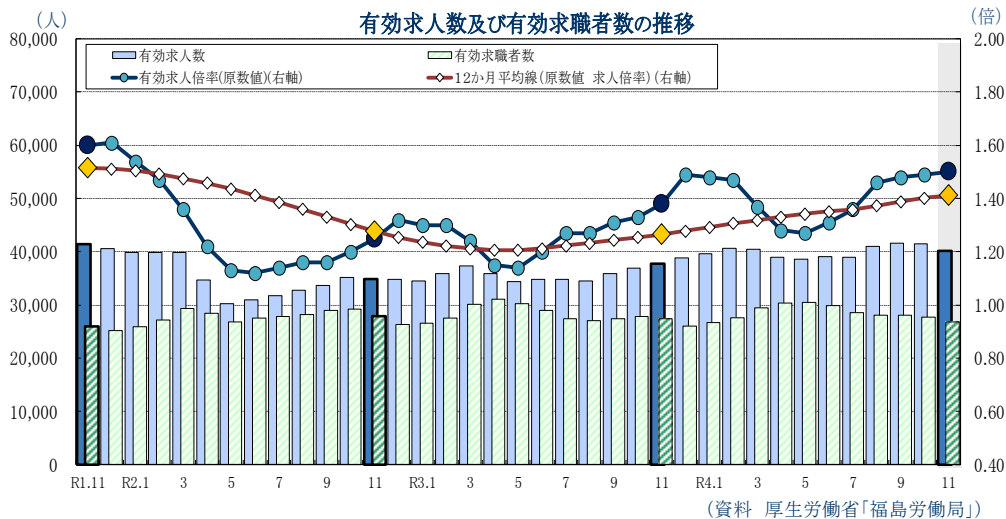
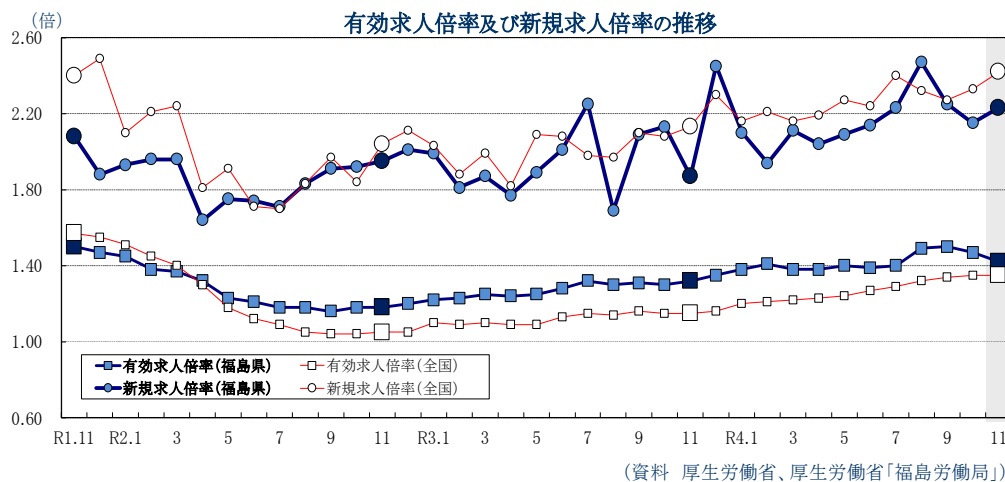
鉱工業指数では原指数の前年同月比で1年前の水準との違いをみて、また、季節調整済指数の前月比で直近の動きをみるというように複合的に利用します。

(4) 雇用・労働

◆ **新規求人倍率(11月)は2.23**(季節調整値)、前月から**0.08ポイント増加し、3か月振りに前月を上回っている。**

◆ **有効求人倍率(11月)は1.42倍**(季節調整値)、前月から**0.05ポイント減少し、2か月連続で前月を下回っている。**

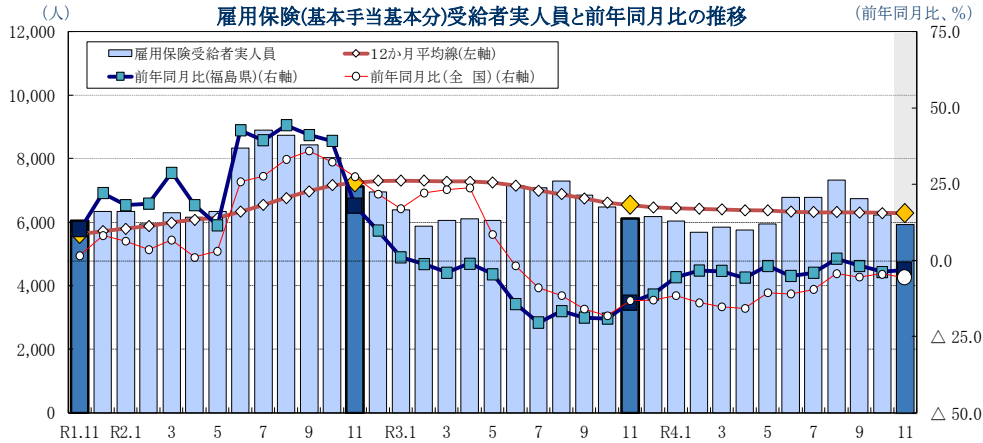
なお、有効求人数は40,119人(対前年同月比6.2%増)となり、20か月連続で前年を上回った。有効求職者数は26,814人(同1.9%減)となり、2か月連続で前年を下回った。



【新規求人倍率と有効求人倍率】

「新規求人」とは、当月受け付けた求人を指し、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人を合わせたものを「有効求人」といいます。同様に、「新規求職」は当月受け付けた求職をいい、「有効求職」は前月から繰り越された求職と新規求職の合計です。有効求人倍率が低いと求職者の割には求人数が少なく雇用情勢が悪化しており、反対に倍率が高いと雇用情勢が良いことを示します。雇用情勢の最新の動きをみるには新規求人倍率をみます。なお、求人倍率は、求人数÷求職者数となりますが、通常公表されている求人倍率は季節調整値のため一致しません。

◆ 雇用保険(基本手当基本分)受給者実人員(11月)は5,926人、対前年同月比3.2%減となり、3か月連続で前年を下回っている。

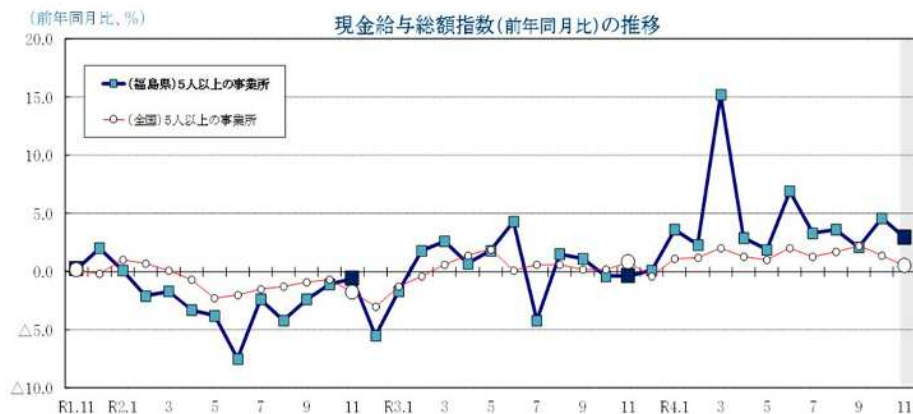


(資料 厚生労働省、厚生労働省「福島労働局」)

【雇用保険受給者実人員】

雇用保険の被保険者が離職後、再就職先が見つからないために失業等給付を受け取っている人の数です。失業動向を示すもので、受給者の増加は雇用情勢の悪化を示します。景気の動きと逆に動きます。

◆ 現金給与総額指数(名目)(11月)は91.0(事業所規模5人以上)、対前年同月比2.9%増となり、12か月連続で前年を上回っている。

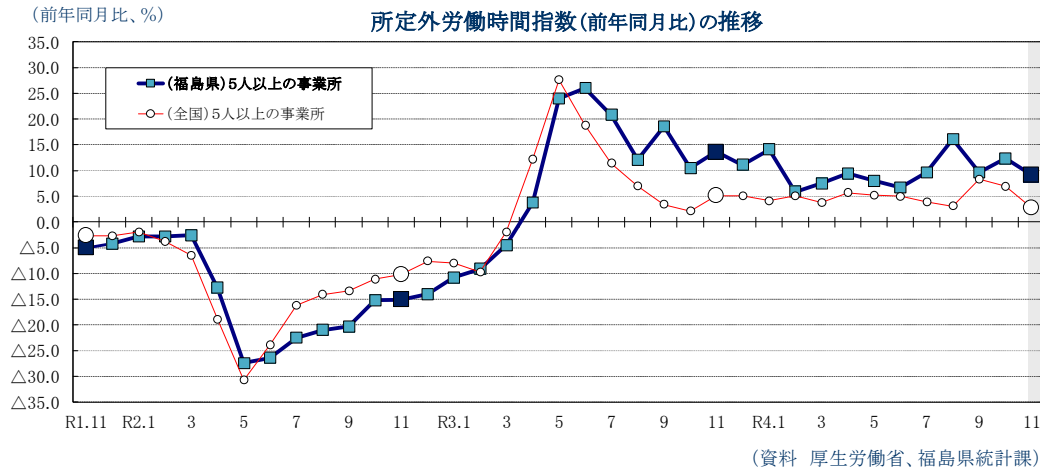


(資料 厚生労働省、福島県統計課)

【現金給与総額指数】

現金給与総額とは、賃金、給与、手当、賞与など労働の対価として使用者が労働者に支払った給与すべてを合計したもので、所得税、社会保険料等を差し引く前の金額です。これを基準年を100として(現在は令和2年=100)指数化したものです。一般に、賞与のある6、7月や12月は指数が高くなる季節性があるため、前年同月比でみる必要があります。

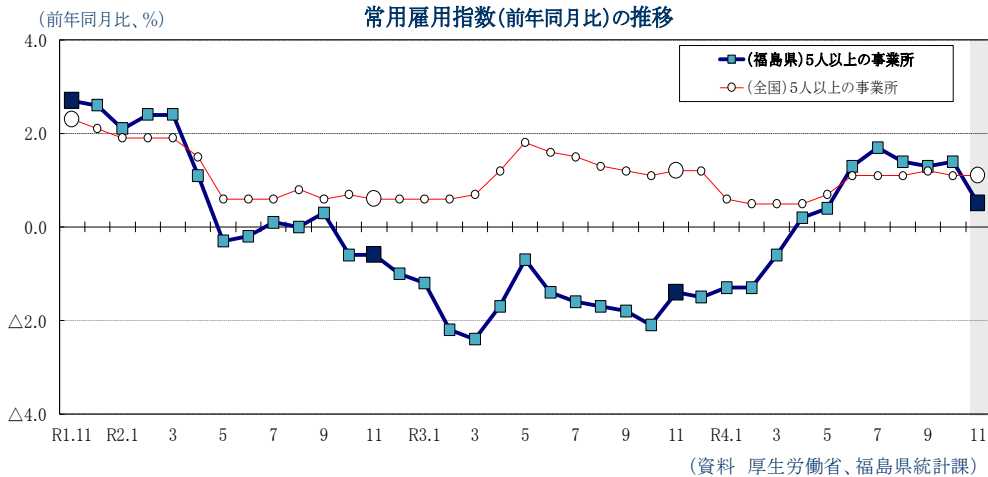
◆ 所定外労働時間指数(11月)は126.6、対前年同月比9.1%増となり、20か月連続で前年を上回っている。



【所定外労働時間指数】

所定外労働時間とは、残業や早出・休日出勤などのことです。これを基準年を100として(現在は令和2年=100)指数化したものです。景気が良くなると、生産活動が活発化し、残業時間の増加で対応することから、景気に敏感に反応します。

◆ 常用雇用指数(11月)は99.2、対前年同月比0.5%増となり、8か月連続で前年を上回っている。



【常用雇用指数】

常用雇用者とは、事業所に雇われている人の数で、一般労働者のほかパートタイム労働者を含み、基準年を100として(現在は令和2年=100)指数化したものです。求人や求職のような希望の数を表すものと違って、実際に雇われている雇用情勢の実態を表します。

< 毎月勤労統計(常用労働者)…次のいずれかに該当する者 >

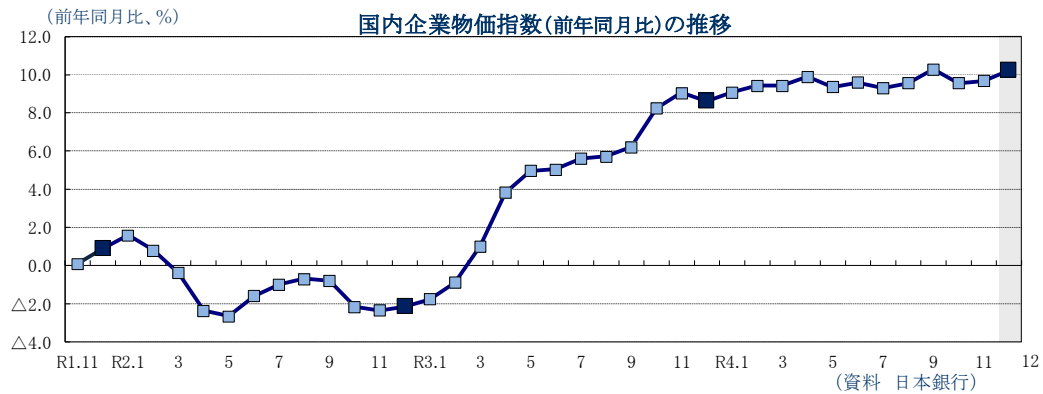
- ① 期間を定めずに雇われている者
- ② 1か月以上の期間を定めて雇われている者

< 雇用保険の適用条件 >

- ① 1週間の所定労働時間が20時間以上
- ② 31日以上雇用見込みがある

(5) 物価

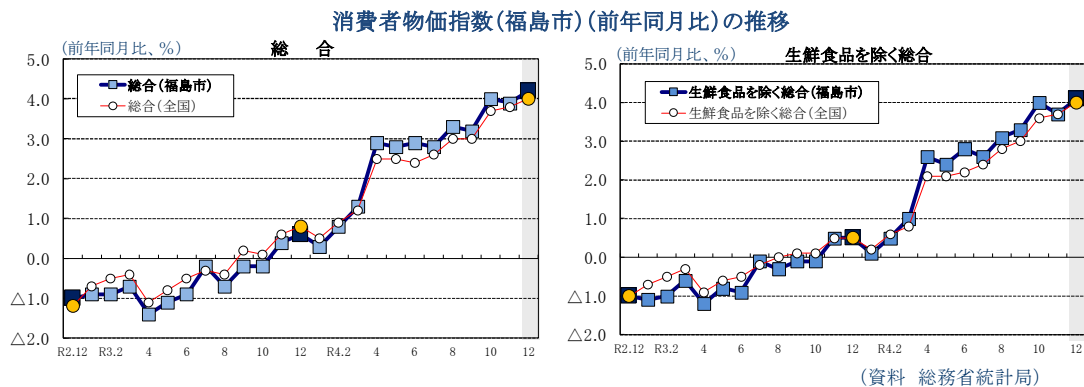
◆ **国内企業物価指数(12月)**は119.5(速報値)、対前年同月比**10.2%増**となり、**22か月連続**で前年を上回っている。
 なお、対前月比は**0.5%増**となっている。



【国内企業物価指数】

出荷や卸売り段階での企業間の取引価格の動きを示す指標で、景気動向に敏感に反応します。景気が過熱してモノの需給が引き締まると、企業物価は上昇します。逆に不況期には下落します。日本は原材料を多く輸入に依存しているため、海外市況や為替相場に左右されやすい側面もあります。

◆ **福島市消費者物価指数(総合)(12月)**は104.1、対前年同月比**4.2%増**となり、**14か月連続**で前年を上回っている。なお、対前月比は**0.2%増**となっている。
 生鮮食品を除く総合では104.1、対前年同月比は**4.1%増**となっている。
 また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合では101.9、対前年同月比は**3.3%増**となっている。



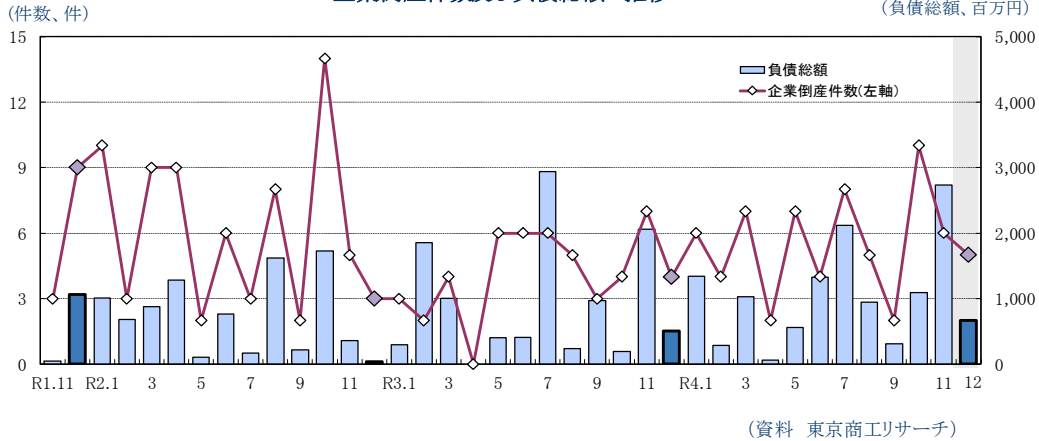
【消費者物価指数】

消費者が平均的に購入する商品やサービスを基準年を100(令和2年=100)とし、物価がどのように変化しているかを指数化したものです。また、生鮮食品は天候などの要因によって価格が大幅に変動するため、他の商品やサービスの価格動向が見えにくくなるため「生鮮食品を除く総合」でみることもあります。また、税制や社会保障制度の変更や原油等のエネルギー価格の動向が影響を及ぼすこともあります。

(6) 企業・金融

◆ **企業倒産(12月)**は、件数が5件、対前年同月比**25.0%増**となり、**2か月**振りに前年を上回った。また、**負債総額**は**6億6,800万円**、対前年同月比**32.8%増**となり、**3か月連続**で前年を上回った。
倒産件数を業種別にみると、**製造業、卸売業**で各1件、**サービス業他**が3件となっている。

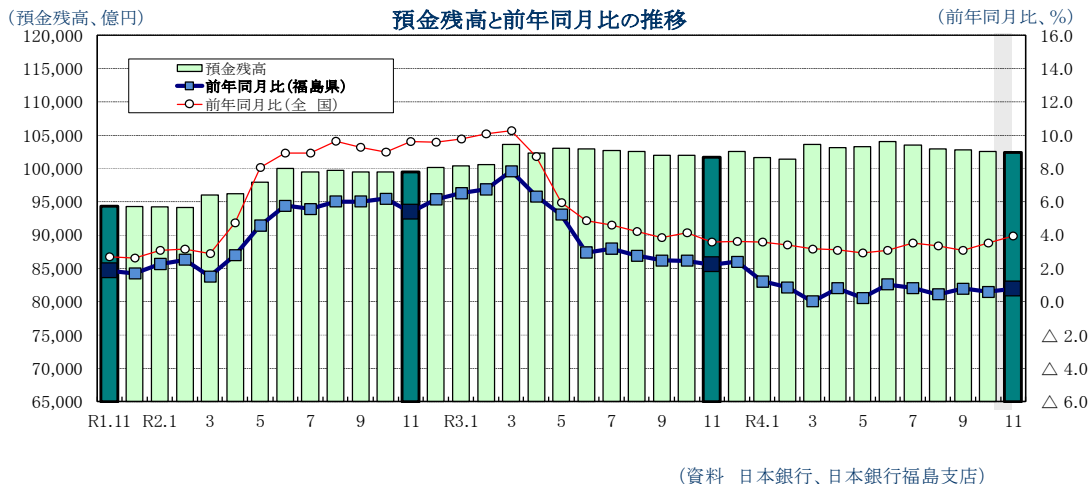
企業倒産件数及び負債総額の推移



【企業倒産】

法的な定義はなく、官庁統計に集計したものではありません。民間信用調査機関ごとに定義を設けて集計しています。「法的整理(破産や会社更生手続、民事再生手続等)」と「任意整理(銀行取引停止処分、内整理)」の大きく2つに分けることができます。

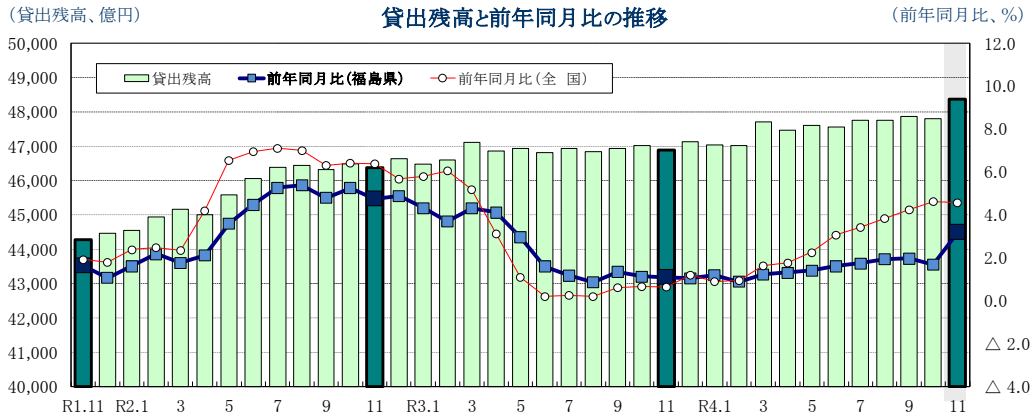
◆ **預金残高(11月)**は総額**10兆2,447億円**、対前年同月比**0.8%増**となり、令和元年6月以降、前年を上回る動きが続いている。



【預金残高】

預金残高の増減は金融機関の信用力と関係し、経営破綻が相次いで信用不安が起きれば、預金流出します。法人預金は売上げ低迷による余資の減少や、預貸相殺の動きが続くと減少し、個人預金は収入が落ち込むと減少します(増加する場合は、前文と逆のことが言えます)。

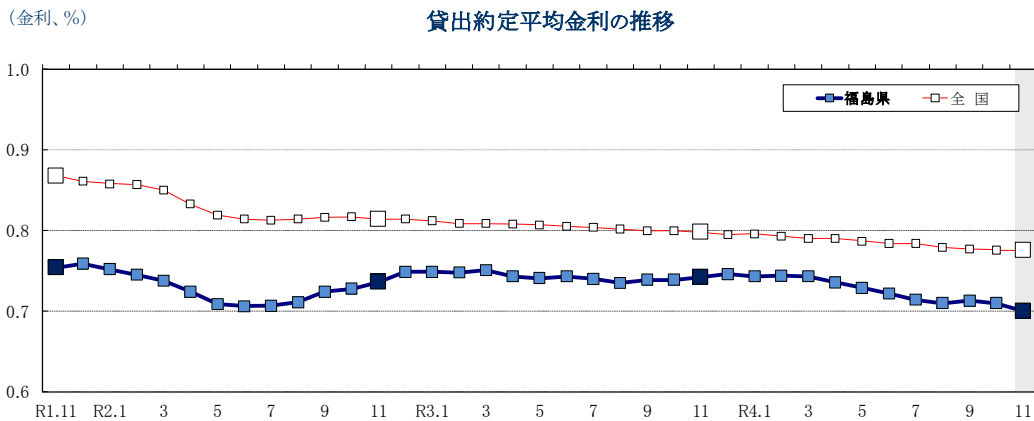
◆ 貸出残高(11月)は総額4兆8,368億円、対前年同月比3.2%増となり、平成25年6月以降、前年を上回る動きが続いている。



【貸出残高】

景気拡大期には企業が設備投資を増やし、資金需要が拡大するため貸出残高は増加します。法人向けは企業が新規借入よりも債務の返済を優先させたり、金融機関が不良債権処理を優先させたりすると、貸出は減少します。個人向けは住宅ローン等が堅調だと増加します。

◆ 貸出約定平均金利(11月)は、0.700%、対前月差0.010ポイント下降し、2か月連続で前月を下回った。



【貸出約定平均金利】

金融機関が過去に貸し出しを行った際の貸出金利を現在の貸出残高で加重平均したもので、銀行融資の金利を示す指標です。

(7) 市場

◆ 日経平均株価(12月)は27,214円69銭(期中平均値)、前月より688円63銭安となり、2か月振りに前月を下回っている。

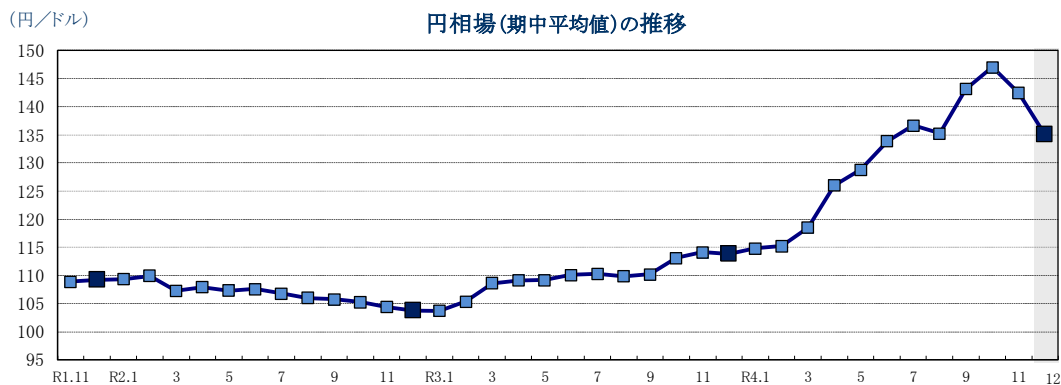


(資料 日経平均プロフィール)

【日経平均株価】

日本経済新聞社が東京証券取引所のプライム市場上場銘柄から市場流動性の高い銘柄を中心に選定した225銘柄(定期的に入れ替え)を対象に平均金額を算出したもので、株式市場全体の株価水準を示す代表的な指標です。株価が上昇すると、企業資産の含み益が増え、企業活動に好影響を与えます。また、株式取引に直接参加していない経営者にも心理的に大きな影響を与えるため、景気の先行指標といわれます。

◆ 円相場(12月)は135円4銭(期中平均値)、前月より7円40銭円高となっている。



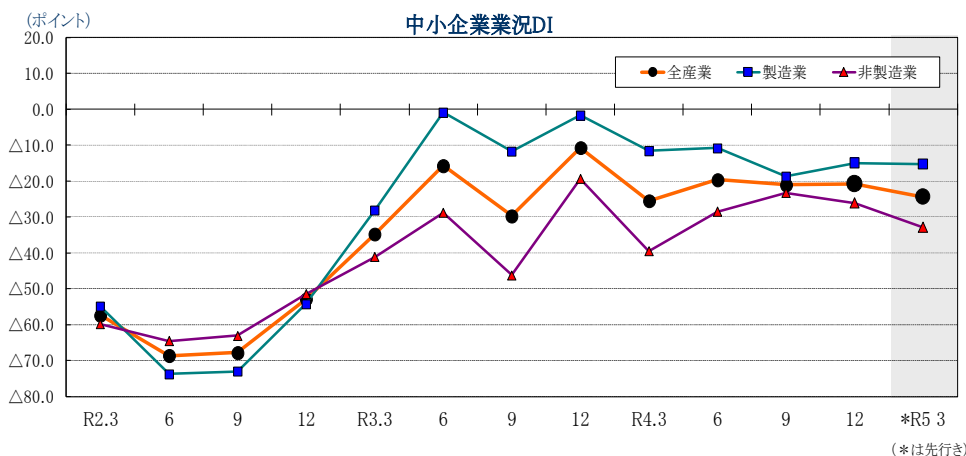
(資料 日本銀行)

【円相場】

円とドルの交換比率(対ドルの為替レート)です。為替レートは商品の値段を決めるときと同様に需給バランスで決まります。その通貨を必要とする人が増えれば値上がりしますし、減れば値下がります。為替レートの変動は、外国貿易を行っている企業に直接的な影響を及ぼし、「円高」では輸出業者が損をして輸入業者が得をしますし、「円安」の場合は逆になります。また、円高になると輸入品価格が低下し、物価下落の要因となる。一方、輸出価格が上昇し、国際競争力を低下させます。円相場は、日本経済全体に多大な影響を与えるため、政府・日銀が介入する場合があります。

(8) 中小企業の業況

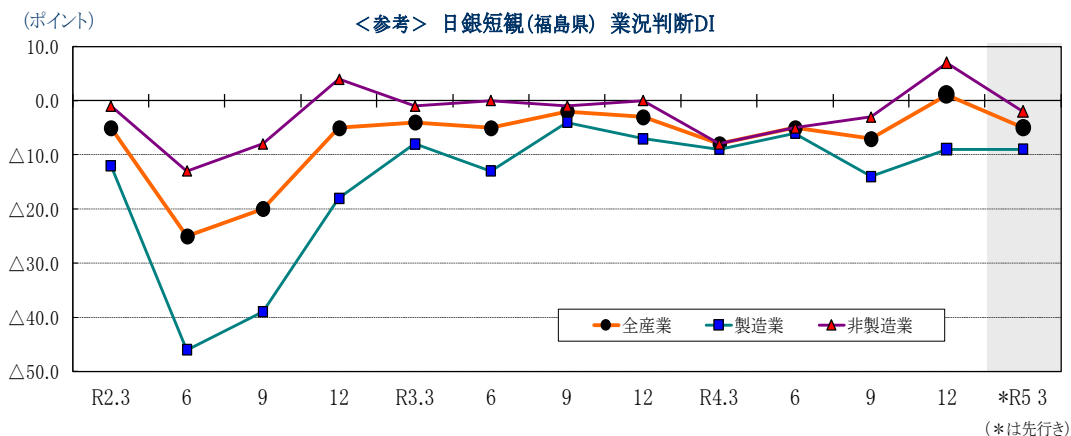
◆ 県内中小企業の業況感を表す業況DI(12月)はマイナス20.8ポイント、前回調査(9月)に比べると0.2ポイント改善している。産業別にみると、製造業は前回に比べ3.7ポイント改善、非製造業は2.9ポイント悪化している。3か月先の見通しは、マイナス24.5ポイントとなり3.7ポイント悪化すると予測している。



(資料 公益財団法人福島県産業振興センター)

【中小企業業況DI】

(公財)福島県産業振興センターが四半期ごとに実施しているビジネス・サーベイです。当該業界に対する企業家の景況判断を示したものです。DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、「良い」と回答した企業の割合から、「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値です。



(資料 日本銀行福島支店)

【参考:日銀短観】

業況等の現状・先行きに関する判断や、事業計画に関する実績・予測など、企業活動全般に関する調査項目について、日本銀行が四半期ごとに実施するビジネス・サーベイです。調査対象は資本金2千万円以上であるため、いわゆる零細企業は対象にならない点に留意する必要があります。また、各支店(例:日銀福島支店)が公表する「支店短観」は、各地域の産業構造を反映するため、全国分の短観が調査・集計対象としていない先(大手企業の出先事務所等)も一部調査・集計対象としています。業況判断DIは業況(「収益を中心とした、業況についての全般的な判断」)が「良い」と回答した企業の割合から「悪い」と回答した企業の割合

3 主要経済指標

区分	個人消費										
	1 百貨店・スーパー販売額				2 コンビニエンスストア販売額		3 家電量販店販売額		4 ドラッグストア販売額		
	福島県		全国		福島県		全国		福島県		全国
年月	全店舗 (百万円)	既存店 (百万円)	全店舗 (億円)	既存店 (億円)	全店舗 (百万円)	既存店 (億円)	全店舗 (百万円)	既存店 (億円)	全店舗 (百万円)	既存店 (億円)	
令和1年	250,945	-	193,962	-	210,407	121,841	50,589	45,454	95,058	68,356	
2年	276,148	-	195,050	-	204,700	116,423	54,311	47,928	106,420	72,841	
令和3年	277,952	-	199,071	-	202,697	117,601	52,842	46,867	109,975	73,066	
3年 III	69,401	-	48,779	-	52,855	30,648	13,060	11,670	29,092	18,801	
IV	73,424	-	54,988	-	50,924	30,095	12,719	11,818	27,291	18,571	
4年 I	68,328	-	48,856	-	48,237	28,218	13,440	12,238	27,320	18,202	
II	68,125	-	49,786	-	51,121	30,093	11,874	11,209	28,321	18,851	
III	69,959	-	50,784	-	54,271	31,770	12,336	11,688	30,382	19,906	
3年 8月	24,013	-	16,078	-	17,712	10,191	4,239	3,697	10,066	6,436	
9月	22,001	-	15,564	-	17,082	9,973	3,733	3,551	9,416	6,032	
10月	22,716	-	16,518	-	16,769	9,927	3,874	3,511	9,031	6,081	
11月	22,300	-	17,078	-	16,289	9,572	3,807	3,579	9,009	5,909	
12月	28,408	-	21,392	-	17,866	10,596	5,038	4,728	9,251	6,581	
4年 1月	23,518	-	16,767	-	16,368	9,537	5,127	4,235	9,404	6,175	
2月	21,380	-	15,036	-	14,989	8,721	3,647	3,466	9,077	5,802	
3月	23,430	-	17,053	-	16,880	9,960	4,666	4,536	8,839	6,225	
4月	22,288	-	16,242	-	16,750	9,873	3,707	3,578	9,331	6,189	
5月	23,379	-	16,809	-	17,246	10,078	3,941	3,704	9,338	6,284	
6月	22,458	-	16,735	-	17,125	10,141	4,226	3,927	9,652	6,378	
7月	23,720	-	17,704	-	18,629	10,844	4,763	4,276	10,021	6,764	
8月	23,755	-	16,776	-	18,449	10,720	3,821	3,635	10,543	6,774	
9月	21,697	-	16,304	-	17,193	10,206	3,752	3,777	9,818	6,369	
10月	22,950	-	17,326	-	17,569	10,577	3,707	3,516	9,525	6,450	
11月	22,322	-	17,590	-	16,875	10,324	3,629	3,589	9,677	6,373	
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

区分	対前年同月(期)比(%)											
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
令和1年	△ 0.5	△ 2.0	△ 1.1	△ 1.3	△ 1.4	△ 1.7	△ 4.4	△ 3.5	△ 7.6	△ 5.6		
2年	△ 0.9	△ 0.9	△ 5.4	△ 6.6	△ 2.7	△ 4.4	△ 7.4	△ 5.1	△ 12.0	△ 6.6		
令和3年	△ 0.9	△ 0.6	△ 0.9	△ 0.6	△ 1.0	△ 1.3	△ 2.7	△ 2.3	△ 3.3	△ 0.3		
3年 III	△ 1.4	△ 1.1	△ 1.4	△ 1.6	△ 1.3	△ 2.0	△ 5.5	△ 8.5	△ 5.0	△ 1.9		
IV	△ 1.1	△ 1.3	△ 1.6	△ 1.3	△ 1.5	△ 0.9	△ 7.9	△ 6.2	△ 5.2	△ 2.2		
4年 I	△ 1.7	△ 0.6	△ 1.9	△ 1.5	△ 0.9	△ 1.8	△ 7.3	△ 0.1	△ 5.0	△ 4.9		
II	△ 0.3	△ 2.8	△ 5.1	△ 4.5	△ 1.7	△ 3.5	△ 5.4	△ 0.5	△ 2.8	△ 2.7		
III	△ 0.3	△ 1.2	△ 4.1	△ 3.6	△ 2.7	△ 3.7	△ 5.5	△ 0.2	△ 4.4	△ 5.9		
3年 8月	△ 4.7	△ 3.1	△ 4.8	△ 4.7	△ 5.2	△ 1.2	△ 16.6	△ 18.3	△ 3.3	△ 0.4		
9月	△ 1.7	△ 0.8	△ 0.7	△ 1.3	△ 1.4	△ 1.1	△ 3.9	△ 3.3	△ 4.8	△ 3.2		
10月	△ 2.4	△ 0.9	△ 1.3	△ 0.9	△ 1.9	△ 0.2	△ 0.0	△ 1.9	△ 6.0	△ 4.6		
11月	△ 0.5	△ 1.5	△ 1.8	△ 1.5	△ 2.5	△ 1.0	△ 13.3	△ 10.6	△ 4.3	△ 1.1		
12月	△ 0.6	△ 1.4	△ 1.7	△ 1.4	△ 0.1	△ 3.8	△ 9.1	△ 8.3	△ 5.3	△ 1.2		
4年 1月	△ 1.6	△ 0.1	△ 3.0	△ 2.6	△ 1.0	△ 2.9	△ 3.5	△ 1.7	△ 4.2	△ 5.7		
2月	△ 1.7	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.1	△ 2.9	△ 0.6	△ 12.3	△ 0.8	△ 7.9	△ 4.5		
3月	△ 1.7	△ 2.3	△ 2.1	△ 1.5	△ 0.7	△ 1.7	△ 7.3	△ 2.6	△ 2.9	△ 4.6		
4月	△ 2.2	△ 1.6	△ 4.6	△ 4.0	△ 1.2	△ 2.7	△ 7.1	△ 1.4	△ 5.1	△ 3.1		
5月	△ 0.7	△ 3.5	△ 9.1	△ 8.5	△ 2.0	△ 3.5	△ 8.7	△ 3.3	△ 2.6	△ 1.7		
6月	△ 0.5	△ 3.2	△ 1.9	△ 1.3	△ 1.9	△ 4.2	△ 0.6	△ 3.5	△ 0.8	△ 3.4		
7月	△ 1.4	△ 0.6	△ 3.3	△ 2.8	△ 3.1	△ 3.4	△ 6.4	△ 3.3	△ 4.3	△ 6.8		
8月	△ 1.1	△ 1.9	△ 4.3	△ 3.8	△ 4.2	△ 5.2	△ 9.9	△ 1.7	△ 4.7	△ 5.3		
9月	△ 1.4	△ 2.4	△ 4.8	△ 4.1	△ 0.6	△ 2.3	△ 0.5	△ 6.4	△ 4.3	△ 5.6		
10月	△ 1.0	△ 0.1	△ 4.9	△ 4.1	△ 4.8	△ 6.5	△ 4.3	△ 0.1	△ 5.5	△ 6.1		
11月	△ 0.1	△ 0.3	△ 3.0	△ 2.4	△ 3.6	△ 7.9	△ 4.7	△ 0.3	△ 7.4	△ 7.9		
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
備考	旧大型小売店販売額											
資料出所	経済産業省「商業動態統計」											

※四半期値のI期は1～3月期、II期は4～6月期、III期は7～9月期、IV期は10～12月期を表す。

区分	個人消費				建設需要					
	5 ホームセンター販売額		6 乗用車新規登録台数		7 新設住宅着工戸数		8 公共工事請負金額		9 業務用建築物着工工事費	
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(百万円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(戸)	(百万円)	(億円)	(百万円)	(億円)
令和1年	67,990	32,748	70,688	4,296	11,043	905,123	637,005	150,255	123,530	95,684
2年	73,829	34,964	60,941	3,804	9,868	815,340	962,898	153,658	139,909	86,878
令和3年	72,179	33,905	56,631	3,670	9,791	856,484	437,764	140,503	87,837	97,489
3年 III	17,639	8,365	12,569	829	2,607	224,663	124,928	38,156	15,740	20,713
IV	18,957	8,807	12,217	801	2,550	219,811	79,646	25,160	29,750	28,584
4年 I	16,116	7,422	15,538	987	2,332	200,424	62,839	25,605	41,512	20,505
II	19,454	8,898	11,224	723	2,256	218,135	162,120	49,296	31,551	28,943
III	17,403	8,186	13,031	846	2,458	224,759	150,389	37,471	26,455	27,952
3年 8月	5,991	2,772	3,903	263	978	74,303	36,882	11,575	6,136	6,795
9月	5,340	2,654	3,922	257	771	73,178	42,755	12,682	7,037	6,617
10月	5,898	2,797	3,581	230	914	78,004	34,415	10,767	8,576	12,340
11月	5,697	2,708	4,676	291	784	73,414	25,667	7,534	5,219	6,602
12月	7,362	3,302	3,960	280	852	68,393	19,564	6,859	15,955	9,642
4年 1月	5,644	2,505	4,200	272	817	59,690	13,714	5,209	16,240	6,381
2月	4,650	2,246	4,454	289	706	64,614	10,427	5,897	5,847	7,293
3月	5,822	2,671	6,884	426	809	76,120	38,698	14,499	19,426	6,830
4月	6,637	2,986	3,836	244	865	76,295	73,594	20,105	12,774	10,063
5月	6,732	3,101	3,367	211	610	67,223	39,076	12,672	6,804	9,030
6月	6,085	2,811	4,021	268	781	74,617	49,450	16,519	11,974	9,850
7月	6,261	2,874	4,437	288	926	73,024	47,015	12,924	6,938	11,114
8月	5,907	2,742	3,553	234	712	77,731	45,622	11,562	7,810	8,635
9月	5,235	2,569	5,041	325	820	74,004	57,752	12,985	11,707	8,203
10月	5,976	2,846	4,532	295	775	76,590	47,201	10,558	27,854	8,441
11月	5,588	2,673	4,558	308	719	72,372	17,273	6,961	6,356	7,905
12月	-	-	3,939	284	-	-	17,406	6,283	-	-

区分	対前年同月(期)比(%)										対前年同月(期)比(%)	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
令和1年	0.3	△ 0.3	1.4	△ 2.0	13.5	△ 4.0	0.5	△ 6.8	19.8	△ 1.9		
2年	8.6	△ 6.8	13.8	△ 11.5	10.6	△ 9.9	51.2	△ 2.3	13.3	△ 9.2		
令和3年	△ 2.2	△ 3.0	△ 7.1	△ 3.5	△ 0.8	△ 5.0	△ 54.5	△ 8.6	△ 37.2	△ 12.2		
3年 III	△ 3.3	△ 6.8	△ 21.1	△ 16.4	10.9	△ 7.2	△ 58.3	△ 12.0	△ 52.3	△ 20.6		
IV	△ 1.7	△ 2.9	△ 19.0	△ 19.1	1.6	△ 6.1	△ 67.4	△ 15.0	△ 7.2	△ 38.0		
4年 I	△ 0.6	△ 2.9	△ 18.7	△ 17.4	11.3	△ 4.9	△ 69.6	△ 8.5	△ 88.6	△ 28.3		
II	△ 0.6	△ 2.1	△ 11.9	△ 14.5	△ 11.1	△ 1.3	△ 4.8	△ 4.4	△ 55.2	△ 41.2		
III	△ 1.3	△ 2.1	△ 3.7	△ 2.1	△ 5.7	△ 0.0	△ 20.4	△ 1.8	△ 68.1	△ 3.4		
3年 8月	△ 10.2	△ 14.0	△ 8.8	△ 2.5	32.2	△ 7.5	△ 67.0	△ 11.0	△ 35.7	△ 9.0		
9月	△ 0.9	△ 3.2	△ 37.7	△ 34.3	1.2	△ 4.3	△ 65.8	△ 15.1	△ 59.1	△ 9.9		
10月	0.6	0.0	△ 31.8	△ 32.3	2.6	10.4	△ 73.3	△ 19.8	△ 6.6	△ 78.7		
11月	△ 4.1	△ 4.0	△ 10.4	△ 13.5	0.9	3.7	△ 69.7	△ 14.5	△ 16.0	△ 2.6		
12月	△ 1.7	△ 4.3	△ 14.1	△ 11.0	1.1	4.2	△ 36.7	△ 6.6	△ 29.1	△ 22.4		
4年 1月	2.8	△ 2.6	△ 15.1	△ 16.0	41.3	2.1	△ 77.6	△ 17.7	△ 150.9	△ 9.8		
2月	△ 3.6	△ 4.1	△ 19.2	△ 19.9	△ 19.5	6.3	△ 76.4	△ 9.1	△ 38.3	△ 6.6		
3月	2.2	△ 2.2	△ 20.4	△ 16.4	26.4	6.0	△ 61.7	△ 4.3	△ 220.6	△ 5.5		
4月	0.7	△ 1.5	△ 14.4	△ 15.3	1.5	2.4	△ 25.5	△ 4.0	△ 66.5	△ 33.4		
5月	△ 2.5	△ 3.9	△ 15.1	△ 19.1	△ 16.9	△ 4.2	△ 28.9	△ 10.3	△ 31.6	△ 12.2		
6月	0.2	△ 0.7	△ 6.3	△ 9.7	△ 18.0	△ 2.2	△ 12.8	0.1	△ 59.8	△ 19.4		
7月	△ 0.7	△ 2.2	△ 6.5	△ 6.9	7.9	△ 5.4	△ 3.8	△ 7.0	△ 170.2	△ 52.2		
8月	△ 1.4	△ 1.1	△ 9.0	△ 11.2	△ 27.2	4.6	△ 23.7	△ 0.1	△ 27.3	△ 27.1		
9月	△ 2.0	△ 3.2	△ 28.5	△ 26.6	6.4	1.1	△ 35.1	△ 2.4	△ 66.4	△ 24.0		
10月	1.3	1.7	△ 26.6	△ 28.5	△ 15.2	△ 1.8	△ 37.2	△ 1.9	△ 224.8	△ 31.6		
11月	△ 1.9	△ 1.3	△ 2.5	△ 5.7	△ 8.3	△ 1.4	△ 32.7	△ 7.6	△ 21.8	△ 19.7		
12月	-	-	△ 0.5	△ 1.5	-	-	△ 11.0	△ 8.4	-	-		
備考	乗用車、軽自動車の計				持家、貸家、給付住宅、分譲住宅の計		年表示は、年度ベースの機関と地方の機関の計		全建築物から居住専用住宅、居住産業併用住宅を除いたもの			
資料出所	経済産業省「商業動態統計」				東北運輸局 全国軽自動車販売連合会 資料		国土交通省「住宅着工統計」		東日本建設保証㈱「公共工事前払金保証統計」			

区分	生産活動											
	10 鉱工業生産指数				11 鉱工業出荷指数				12 鉱工業在庫指数			
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
年月	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数	季調値	季調値	原指数	原指数
令和1年	-	-	94.5	101.1	-	-	97.1	100.2	-	-	116.6	103.6
2年	-	-	85.4	90.6	-	-	86.9	89.6	-	-	114.8	100.6
令和3年	-	-	88.3	95.7	-	-	88.2	93.7	-	-	105.8	96.2
3年 III	90.7	94.7	88.1	93.2	90.0	92.2	88.0	90.9	104.4	96.2	103.6	96.7
IV	88.7	94.9	91.7	97.6	87.5	92.4	90.3	95.7	107.8	99.4	107.0	98.8
4年 I	84.1	95.7	86.1	95.8	85.3	92.9	87.4	93.8	107.6	100.4	111.8	100.2
II	87.5	93.1	84.8	92.1	87.3	92.0	84.1	89.3	115.5	98.6	113.0	98.9
III	93.0	98.5	90.7	97.1	93.5	95.8	91.7	94.8	115.7	101.6	114.7	102.2
3年 8月	90.9	96.2	80.6	86.5	89.7	93.6	80.4	84.9	104.1	95.3	104.0	96.4
9月	90.6	89.9	92.5	93.0	89.4	86.9	91.2	90.7	106.1	97.9	105.7	97.1
10月	88.7	91.8	89.8	92.8	87.4	89.1	88.6	90.1	107.6	98.4	105.8	98.1
11月	89.7	96.4	91.8	99.9	89.0	93.9	91.3	97.1	107.2	99.8	104.8	100.6
12月	87.7	96.6	93.5	100.0	86.1	94.1	90.9	99.8	108.7	99.9	110.4	97.8
4年 1月	84.7	94.3	82.4	87.7	86.2	92.7	82.0	85.8	106.7	99.2	111.7	100.9
2月	85.0	96.2	82.3	92.5	86.5	92.7	83.0	89.6	110.4	101.3	114.8	102.0
3月	82.7	96.5	93.5	107.1	83.1	93.2	97.1	106.0	105.7	100.7	108.9	97.7
4月	88.0	95.1	84.3	93.8	87.8	93.0	84.2	90.9	115.9	98.6	111.5	97.3
5月	85.6	88.0	79.5	83.8	85.7	89.2	78.2	81.3	116.3	97.7	114.2	99.1
6月	89.0	96.1	90.5	98.8	88.4	93.7	89.9	95.7	114.4	99.6	113.2	100.3
7月	90.2	96.9	90.7	98.0	91.7	94.8	92.6	95.2	114.5	100.2	112.2	101.4
8月	93.0	100.2	83.7	91.5	93.3	97.5	85.0	89.9	113.1	100.9	113.0	102.1
9月	95.7	98.5	97.7	101.9	95.6	95.1	97.6	99.2	119.4	103.8	119.0	103.0
10月	93.8	95.3	93.5	95.6	94.1	93.5	94.3	93.8	124.6	103.3	122.5	103.0
11月	92.7	95.5	94.9	99.0	93.5	93.4	95.9	96.6	121.4	103.6	118.7	104.4
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)		対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)		対前月(期)比		対前年同月(期)比(%)	
令和1年	-	-	△ 4.9	△ 3.0	-	-	△ 6.1	△ 2.7	-	-	18.1	1.6
2年	-	-	△ 9.6	△ 10.4	-	-	△ 10.5	△ 10.6	-	-	△ 1.5	△ 2.9
令和3年	-	-	3.4	5.6	-	-	1.5	4.6	-	-	△ 7.8	△ 4.4
3年 III	2.1	△ 1.9	11.1	5.4	0.4	△ 3.3	6.5	3.9	0.1	1.4	△ 8.2	△ 2.7
IV	△ 2.2	0.2	2.5	0.9	△ 2.8	0.2	△ 0.4	0.0	3.3	3.3	△ 5.4	4.1
4年 I	△ 5.2	0.8	△ 1.5	△ 0.6	△ 2.5	0.5	△ 1.1	△ 1.8	△ 0.2	1.0	0.9	6.1
II	4.0	△ 2.7	△ 1.4	△ 3.7	2.3	△ 1.0	△ 2.5	△ 3.6	7.3	△ 1.8	10.8	4.0
III	6.3	5.8	3.0	4.2	7.1	4.1	4.2	4.3	0.2	3.0	10.7	5.7
3年 8月	0.2	△ 1.9	15.1	8.4	△ 1.3	△ 2.6	9.4	6.7	1.0	△ 0.1	△ 9.0	△ 3.8
9月	△ 0.3	△ 6.5	9.0	△ 2.5	△ 0.3	△ 7.2	4.6	△ 4.6	1.9	2.7	△ 6.0	0.4
10月	△ 2.1	2.1	△ 1.8	△ 4.3	△ 2.2	2.5	△ 3.1	△ 5.9	1.4	0.5	△ 5.8	2.1
11月	1.1	5.0	5.6	4.8	1.8	5.4	3.5	3.3	△ 0.4	1.4	△ 7.8	5.5
12月	△ 2.2	0.2	3.5	2.2	△ 3.3	0.2	△ 1.6	2.5	1.4	0.1	△ 2.6	4.9
4年 1月	△ 3.4	△ 2.4	△ 1.7	△ 0.8	0.1	△ 1.5	△ 1.9	△ 1.3	△ 1.8	△ 0.7	△ 4.8	4.7
2月	0.4	2.0	4.7	0.5	0.3	0.0	4.4	△ 1.5	3.5	2.1	3.8	7.1
3月	△ 2.7	0.3	△ 6.3	△ 1.7	△ 3.9	0.5	△ 4.9	△ 2.4	△ 4.3	△ 0.6	4.2	6.8
4月	6.4	△ 1.5	△ 1.6	△ 4.9	5.7	△ 0.2	△ 3.0	△ 4.6	9.6	△ 2.1	5.5	4.1
5月	△ 2.7	△ 7.5	△ 1.0	△ 3.1	△ 2.4	△ 4.1	△ 1.0	△ 3.1	0.3	△ 0.9	12.6	3.8
6月	4.0	9.2	△ 1.6	△ 2.8	3.2	5.0	△ 3.4	△ 2.9	△ 1.6	1.9	14.5	4.2
7月	1.3	0.8	△ 0.4	△ 2.0	3.7	1.2	0.3	△ 2.1	0.1	0.6	11.1	5.1
8月	3.1	3.4	3.8	5.8	1.7	2.8	5.7	5.9	△ 1.2	0.7	8.7	5.9
9月	2.9	△ 1.7	5.6	9.6	2.5	△ 2.5	7.0	9.4	5.6	2.9	12.6	6.1
10月	△ 2.0	△ 3.2	4.1	3.0	△ 1.6	△ 1.7	6.4	4.1	4.4	△ 0.5	15.8	5.0
11月	△ 1.2	0.2	3.4	△ 0.9	△ 0.6	△ 0.1	5.0	△ 0.5	△ 2.6	0.3	13.3	3.8
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
備考	福島県:平成27年=100 全国:平成27年=100				福島県:平成27年=100 全国:平成27年=100				福島県:平成27年=100 全国:平成27年=100			
資料 出所	福島県統計課「福島県鉱工業指数月報」 経済産業省「鉱工業指数」											

区分	雇用・労働									
	13 新規求人倍率		14 有効求人倍率		15 有効求人数		16 有効求職者数		17 雇用保険受給者 実人員	
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)	(人)	(千人)	(人)	(千人)	(人)	(千人)
令和1年	2.04	2.42	1.51	1.60	41,547	2,737	27,490	1,710	5,717	382,429
2年	1.85	1.95	1.25	1.18	34,883	2,161	27,812	1,828	7,300	456,759
令和3年	1.95	2.02	1.28	1.13	35,954	2,196	28,134	1,949	6,468	449,342
3年 III	2.01	2.02	1.31	1.15	35,041	2,160	27,300	1,921	7,069	480,864
IV	2.15	2.17	1.32	1.15	37,833	2,320	27,061	1,921	6,263	424,645
4年 I	2.05	2.18	1.39	1.21	40,247	2,456	27,911	1,937	5,855	383,457
II	2.09	2.23	1.39	1.25	38,887	2,421	30,248	2,065	6,154	392,364
III	2.32	2.33	1.46	1.32	40,517	2,470	28,228	1,916	6,946	449,610
3年 8月	1.69	1.97	1.30	1.14	34,432	2,158	27,089	1,918	7,282	490,102
9月	2.09	2.10	1.31	1.16	35,805	2,202	27,427	1,929	6,854	467,208
10月	2.13	2.08	1.30	1.15	36,880	2,278	27,793	1,956	6,484	438,582
11月	1.87	2.13	1.32	1.15	37,780	2,335	27,335	1,940	6,120	426,570
12月	2.45	2.30	1.35	1.16	38,838	2,347	26,054	1,867	6,185	408,782
4年 1月	2.10	2.16	1.38	1.20	39,621	2,407	26,699	1,892	6,042	396,398
2月	1.94	2.21	1.41	1.21	40,643	2,453	27,574	1,920	5,681	376,271
3月	2.11	2.16	1.38	1.22	40,477	2,507	29,459	1,999	5,843	377,701
4月	2.04	2.19	1.38	1.23	38,984	2,422	30,367	2,070	5,749	365,713
5月	2.09	2.27	1.40	1.24	38,636	2,402	30,493	2,082	5,942	386,617
6月	2.14	2.24	1.39	1.27	39,042	2,439	29,884	2,041	6,771	424,762
7月	2.23	2.40	1.40	1.29	38,933	2,436	28,570	1,938	6,783	438,879
8月	2.47	2.32	1.49	1.32	41,031	2,474	28,087	1,913	7,321	468,516
9月	2.25	2.27	1.50	1.34	41,587	2,501	28,026	1,896	6,734	441,436
10月	2.15	2.33	1.47	1.35	41,448	2,546	27,756	1,891	6,237	418,870
11月	2.23	2.42	1.42	1.35	40,119	2,567	26,814	1,840	5,926	401,790
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	対前月(期) (ポイント)				対前年同月(期)比(%)				対前年同月(期)比(%)			
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
令和1年	0.01	0.03	0.00	△ 0.01	△ 1.9	△ 1.6	△ 2.0	△ 0.8	△ 3.4	△ 2.4		
2年	△ 0.19	△ 0.47	△ 0.26	△ 0.42	△ 16.0	△ 21.0	△ 1.2	△ 6.9	△ 27.7	△ 19.4		
令和3年	0.10	0.07	0.03	△ 0.05	3.1	1.6	1.2	6.6	△ 11.4	△ 1.6		
3年 III	0.12	0.02	0.05	0.05	7.2	9.2	△ 3.7	0.8	△ 18.7	△ 12.2		
IV	0.14	0.15	0.01	0.00	8.2	10.3	△ 2.7	△ 0.2	△ 15.0	△ 14.9		
4年 I	△ 0.10	0.01	0.07	0.06	12.1	12.9	△ 0.6	1.5	△ 4.2	△ 13.6		
II	0.04	0.05	0.00	0.04	11.0	13.8	0.5	1.0	△ 4.3	△ 12.5		
III	0.23	0.10	0.07	0.07	15.6	14.4	3.4	△ 0.3	△ 1.7	△ 6.5		
3年 8月	△ 0.56	△ 0.01	△ 0.02	△ 0.01	5.2	9.7	△ 3.9	0.7	△ 16.7	△ 11.6		
9月	0.40	0.13	0.01	0.02	6.4	9.6	△ 5.3	△ 0.7	△ 18.8	△ 16.0		
10月	0.04	△ 0.02	△ 0.01	△ 0.01	4.8	8.6	△ 4.9	△ 1.6	△ 19.2	△ 18.1		
11月	△ 0.26	0.05	0.02	0.00	8.3	10.3	△ 2.0	0.2	△ 14.0	△ 13.2		
12月	0.58	0.17	0.03	0.01	11.4	12.0	△ 1.1	0.9	△ 11.1	△ 13.0		
4年 1月	△ 0.35	△ 0.14	0.03	0.04	14.8	14.0	0.5	2.8	△ 5.5	△ 11.6		
2月	△ 0.16	0.05	0.03	0.01	13.4	13.0	0.2	1.7	△ 3.4	△ 13.9		
3月	0.17	△ 0.05	△ 0.03	0.01	8.2	11.7	△ 2.3	0.2	△ 3.5	△ 15.2		
4月	△ 0.07	0.03	0.00	0.01	8.7	11.8	△ 2.2	△ 1.0	△ 5.8	△ 15.8		
5月	0.05	0.08	0.02	0.01	12.4	14.5	0.9	1.7	△ 1.7	△ 10.7		
6月	0.05	△ 0.03	△ 0.01	0.03	11.9	15.1	3.0	2.3	△ 5.2	△ 11.1		
7月	0.09	0.16	0.01	0.02	11.6	14.8	4.3	1.2	△ 4.1	△ 9.6		
8月	0.24	△ 0.08	0.09	0.03	19.2	14.7	3.7	△ 0.3	0.5	△ 4.4		
9月	△ 0.22	△ 0.05	0.01	0.02	16.1	13.6	2.2	△ 1.7	△ 1.8	△ 5.5		
10月	△ 0.10	0.06	△ 0.03	0.01	12.4	11.7	△ 0.1	△ 3.3	△ 3.8	△ 4.5		
11月	0.08	0.09	△ 0.05	0.00	6.2	10.0	△ 1.9	△ 5.1	△ 3.2	△ 5.8		
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
備考	学卒を除きパートを含む。										四半期値は各期ごとの平均	
資料	新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月の値は季節調整値 四半期値は各期ごとの平均											
出所	福島労働局職業安定部「最近の雇用失業情勢について」、「雇用失業情勢」											

区分	雇用・労働								物価
	18 現金給与総額 指数(名目)		19 所定外労働 時間指数		20 常用雇用指数		21 パートタイム 労働者比率		22 国内企業 物価指数
年月	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	全国
							(%)	(%)	
令和1年	103.4	101.2	117.9	115.1	99.6	99.0	25.0	31.5	101.2
2年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	24.9	31.1	100.0
令和3年	100.6	100.3	108.5	105.2	98.4	101.1	24.9	31.3	104.6
3年 III	97.0	95.9	106.1	102.7	98.2	101.4	24.4	31.3	105.7
IV	114.0	115.1	114.6	110.0	98.4	101.7	24.9	31.8	108.2
4年 I	94.9	87.2	114.2	107.9	97.5	100.8	26.1	31.4	110.4
II	107.2	105.9	117.4	110.1	98.9	102.0	26.1	31.3	113.6
III	100.0	97.5	118.4	108.0	99.7	102.5	25.7	31.7	115.9
3年 8月	90.8	86.3	99.0	99.1	98.3	101.4	24.5	31.3	105.6
9月	85.8	84.8	108.7	102.4	98.1	101.3	24.4	31.3	106.0
10月	85.5	85.2	111.8	106.7	98.0	101.6	24.7	31.6	107.7
11月	88.4	88.8	116.0	111.1	98.7	101.7	25.0	31.8	108.4
12月	168.1	171.4	116.0	112.2	98.5	101.8	25.1	31.9	108.4
4年 1月	91.6	86.3	110.6	104.3	98.1	101.1	26.1	31.4	109.4
2月	88.6	84.5	111.7	106.5	97.3	100.8	26.0	31.4	110.3
3月	104.4	90.7	120.2	113.0	97.0	100.4	26.3	31.3	111.4
4月	91.6	88.7	123.4	116.3	98.7	101.6	26.4	31.2	113.2
5月	88.0	87.0	112.8	105.4	98.7	101.9	25.9	31.2	113.3
6月	141.9	141.9	116.0	108.7	99.4	102.4	26.0	31.5	114.3
7月	118.2	118.1	121.3	110.9	99.9	102.6	25.5	31.5	115.2
8月	94.1	87.8	114.9	102.2	99.7	102.5	25.8	31.9	115.7
9月	87.6	86.7	119.1	110.9	99.4	102.5	25.9	31.7	116.9
10月	89.4	86.4	125.5	114.1	99.4	102.7	25.7	31.9	118.0
11月	91.0	89.2	126.6	114.1	99.2	102.8	25.9	31.8	118.9
12月	-	-	-	-	-	-	-	-	119.5

									対前月(期)(ポイント)		対前年同月(期)比(%)
令和1年	2.4	△ 0.4	△ 6.6	△ 1.9	1.7	2.0	0.9	0.6	0.2		
2年	△ 3.3	△ 1.2	△ 15.1	△ 13.2	0.5	1.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 1.2		
令和3年	0.6	0.3	8.4	5.1	△ 1.6	1.2	0.0	0.2	4.6		
3年 III	△ 0.9	0.5	17.3	7.2	△ 1.7	1.3	△ 0.7	0.5	5.9		
IV	△ 0.1	0.1	11.7	4.2	△ 1.7	1.1	0.5	0.5	8.6		
4年 I	7.2	1.4	9.0	4.3	△ 1.1	0.5	1.2	△ 0.4	9.3		
II	4.3	1.5	8.1	5.3	0.6	0.8	0.0	△ 0.1	9.7		
III	3.1	1.7	11.6	5.1	1.5	1.1	△ 0.4	0.4	9.6		
3年 8月	1.5	0.6	12.1	7.0	△ 1.7	1.3	0.3	0.1	5.7		
9月	1.1	0.2	18.6	3.4	△ 1.8	1.2	△ 0.1	△ 0.0	6.2		
10月	△ 0.4	0.2	10.5	2.1	△ 2.1	1.1	0.3	0.3	8.2		
11月	△ 0.4	0.8	13.6	5.1	△ 1.4	1.2	0.3	0.2	9.1		
12月	0.1	△ 0.4	11.1	5.1	△ 1.5	1.2	0.1	0.1	8.6		
4年 1月	3.6	1.1	14.1	4.1	△ 1.3	0.6	1.0	△ 0.5	9.1		
2月	2.3	1.2	5.9	5.1	△ 1.3	0.5	△ 0.1	△ 0.0	9.4		
3月	15.2	2.0	7.5	3.8	△ 0.6	0.5	0.3	△ 0.0	9.4		
4月	2.9	1.3	9.4	5.7	0.2	0.5	0.1	△ 0.1	9.9		
5月	1.9	1.0	8.0	5.2	0.4	0.7	△ 0.5	0.0	9.4		
6月	6.9	2.0	6.7	5.0	1.3	1.1	0.1	0.3	9.6		
7月	3.3	1.3	9.6	3.9	1.7	1.1	△ 0.5	△ 0.0	9.3		
8月	3.6	1.7	16.1	3.1	1.4	1.1	0.3	0.3	9.6		
9月	2.1	2.2	9.6	8.3	1.3	1.2	0.1	△ 0.2	10.3		
10月	4.6	1.4	12.3	6.9	1.4	1.1	△ 0.2	0.2	9.6		
11月	2.9	0.5	9.1	2.7	0.5	1.1	0.2	△ 0.2	9.7		
12月									10.2		
備考	全産業5人以上 令和2年=100								令和2年=100 総平均		
資料 出所	福島県統計課「福島県の賃金、労働時間及び雇用の動き」 厚生労働省「毎月勤労統計」								日本銀行「企業 物価指数」		

区分	物価				企業・金融							
	23 消費者物価指数				24 企業倒産				25 金融機関預貸残高			
	福島市		全国		福島県		全国		福島県		全国	
年月	総合	生鮮食品 を除く総合	総合	生鮮食品 を除く総合	件数	負債総額	件数	負債総額	預金残高	貸出残高	預金残高	貸出残高
					(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)
令和1年	99.9	100.1	100.0	100.2	76	18,691	8,384	14,255	94,350	44,459	79,957	52,466
2年	100.0	100.0	100.0	100.0	74	8,886	7,773	12,201	100,141	46,630	87,619	55,444
令和3年	99.5	99.6	99.8	99.8	50	10,884	6,030	11,507	102,557	47,124	90,777	56,114
3年 III	99.4	99.4	99.8	99.8	14	4,161	1,447	2,533	101,954	46,936	90,008	55,667
IV	99.9	99.9	100.0	100.0	15	2,762	1,539	2,858	102,557	47,124	90,777	56,114
4年 I	100.5	100.4	100.7	100.5	17	2,662	1,504	3,076	103,616	47,701	92,740	56,719
II	101.8	101.6	101.7	101.6	13	1,950	1,556	14,012	104,048	47,561	93,081	57,225
III	102.5	102.5	102.7	102.5	15	3,373	1,585	3,409	102,759	47,861	92,796	58,028
3年 8月	99.1	99.2	99.7	99.8	5	242	466	910	102,528	46,836	90,166	55,495
9月	99.7	99.5	100.1	99.8	3	974	505	909	101,954	46,936	90,008	55,667
10月	99.7	99.6	99.9	99.9	4	197	525	985	101,942	47,009	90,323	55,630
11月	100.0	100.1	100.1	100.1	7	2,062	510	941	101,669	46,879	90,843	55,836
12月	99.9	100.0	100.1	100.0	4	503	504	932	102,557	47,124	90,777	56,114
4年 1月	100.1	100.0	100.3	100.1	6	1,345	452	669	101,624	47,026	90,994	55,977
2月	100.4	100.3	100.7	100.5	4	285	459	710	101,395	47,018	91,211	56,171
3月	101.1	101.0	101.1	100.9	7	1,032	593	1,697	103,616	47,701	92,740	56,719
4月	101.6	101.5	101.5	101.4	2	63	486	813	103,143	47,466	93,188	56,684
5月	101.8	101.6	101.8	101.6	7	557	524	874	103,256	47,599	93,454	56,855
6月	101.9	101.8	101.8	101.7	4	1,330	546	12,326	104,048	47,561	93,081	57,225
7月	102.1	102.2	102.3	102.2	8	2,117	494	846	103,523	47,748	93,193	57,455
8月	102.4	102.4	102.7	102.5	5	946	492	1,114	102,985	47,744	93,194	57,626
9月	103.0	102.8	103.1	102.9	2	310	599	1,449	102,759	47,861	92,796	58,028
10月	103.6	103.6	103.7	103.4	10	1,092	596	870	102,546	47,800	93,490	58,203
11月	103.9	103.8	103.9	103.8	6	2,738	581	1,156	102,447	48,368	94,424	58,393
12月	104.1	104.1	104.1	104.1	5	668	606	792	-	-	-	-

区分	対前年同月(期)比(%)											
	総合	生鮮食品 を除く総合	総合	生鮮食品 を除く総合	件数	負債総額	件数	負債総額	預金残高	貸出残高	預金残高	貸出残高
令和1年	0.7	0.9	0.5	0.6	△ 2.6	△ 14.7	1.8	△ 4.0	1.7	1.1	2.6	1.8
2年	0.1	△ 0.1	0.0	△ 0.2	△ 2.6	△ 52.5	△ 7.3	△ 14.4	6.1	4.9	9.6	5.7
令和3年	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2	△ 32.4	22.5	△ 22.4	△ 5.7	2.4	1.1	3.6	1.2
3年 III	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.0	7.7	105.7	△ 28.4	3.8	2.5	1.3	3.9	0.6
IV	0.3	0.3	0.5	0.4	△ 31.8	29.5	△ 12.1	△ 10.4	2.4	1.1	3.6	1.2
4年 I	0.8	0.6	0.9	0.6	88.9	△ 15.6	△ 3.2	5.9	0.0	1.2	3.2	1.6
II	2.9	2.6	2.4	2.1	8.3	141.3	4.4	336.1	1.0	1.6	3.1	3.1
III	3.2	3.1	2.9	2.7	7.1	△ 18.9	9.5	34.6	0.8	2.0	3.1	4.2
3年 8月	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.4	0.0	△ 37.5	△ 85.1	△ 30.1	25.6	2.8	0.9	4.2	0.2
9月	△ 0.2	△ 0.1	0.2	0.1	50.0	332.9	△ 10.6	28.4	2.5	1.3	3.9	0.6
10月	△ 0.2	△ 0.1	0.1	0.1	△ 71.4	△ 88.6	△ 15.9	25.7	2.5	1.1	4.1	0.7
11月	0.4	0.5	0.6	0.5	40.0	472.8	△ 10.4	△ 7.8	2.2	1.1	3.6	0.6
12月	0.6	0.5	0.8	0.5	33.3	1,223.7	△ 9.7	△ 32.7	2.4	1.1	3.6	1.2
4年 1月	0.3	0.1	0.5	0.2	100.0	351.3	△ 4.6	△ 17.8	1.2	1.2	3.6	0.9
2月	0.8	0.5	0.9	0.6	100.0	△ 84.6	2.9	5.2	0.9	0.9	3.4	0.9
3月	1.3	1.0	1.2	0.8	75.0	2.8	△ 6.5	20.0	0.0	1.2	3.2	1.6
4月	2.9	2.6	2.5	2.1	-	-	1.9	△ 3.4	0.8	1.3	3.1	1.8
5月	2.8	2.4	2.5	2.1	16.7	39.3	11.0	△ 48.2	0.2	1.4	2.9	2.3
6月	2.9	2.8	2.4	2.2	△ 33.3	226.0	0.9	1,697.7	1.0	1.6	3.1	3.1
7月	2.8	2.6	2.6	2.4	33.3	△ 28.1	3.8	18.3	0.8	1.7	3.5	3.4
8月	3.3	3.1	3.0	2.8	0.0	290.9	5.6	22.5	0.4	1.9	3.4	3.8
9月	3.2	3.3	3.0	3.0	△ 33.3	△ 68.2	18.6	59.4	0.8	2.0	3.1	4.2
10月	4.0	4.0	3.7	3.6	150.0	454.3	13.5	△ 11.6	0.6	1.7	3.5	4.6
11月	3.9	3.7	3.8	3.7	△ 14.3	32.8	13.9	22.8	0.8	3.2	3.9	4.6
12月	4.2	4.1	4.0	4.0	25.0	32.8	20.2	△ 15.0	-	-	-	-
備考	令和2年=100				負債総額1,000万円以上				年・期・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀・信用金庫の計(13銀行(県内店舗分)、8信金(県外店舗含む))			
資料 出所	総務省統計局「消費者物価指数」				㈱東京商工リサーチ福島支店・郡山支店「福島県企業倒産状況」、㈱東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」				預金残高は実質預金(総預金から切手手形を控除したもの) 日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」、日本銀行「金融経済統計月報」			

区分	企業・金融		中小企業の業況							市場	
	26 貸出約定平均金利		27 中小企業業況DI							28 株式	29 円相場
	福島県	全国	福島県							株価	
年月	地元地銀・ 第二地銀	国内銀行	全産業	製造業	非製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	東証株式 (プライム)	東京市場 米ドルスポット
	(%)	(%)								(円)	(円/米ドル)
令和1年	0.759	0.861	-	-	-	-	-	-	-	21,697.23	108.99
2年	0.749	0.814	-	-	-	-	-	-	-	22,705.02	106.73
令和3年	0.746	0.795	-	-	-	-	-	-	-	28,836.40	109.89
3年 III	0.739	0.800	-	-	-	-	-	-	-	28,554.00	110.09
IV	0.746	0.795	-	-	-	-	-	-	-	28,810.08	113.70
4年 I	0.743	0.790	-	-	-	-	-	-	-	27,156.32	116.32
II	0.722	0.784	-	-	-	-	-	-	-	26,893.81	129.66
III	0.713	0.777	-	-	-	-	-	-	-	27,610.50	138.24
3年 8月	0.735	0.802	-	-	-	-	-	-	-	27,692.73	109.84
9月	0.739	0.800	△ 29.7	△ 11.7	△ 46.2	△ 31.1	△ 41.1	△ 50.0	△ 58.1	29,893.57	110.17
10月	0.739	0.800	-	-	-	-	-	-	-	28,586.20	113.10
11月	0.742	0.798	-	-	-	-	-	-	-	29,370.61	114.13
12月	0.746	0.795	△ 10.7	△ 1.7	△ 19.4	△ 22.2	△ 10.1	△ 34.7	△ 9.6	28,514.23	113.87
4年 1月	0.743	0.796	-	-	-	-	-	-	-	27,903.99	114.83
2月	0.744	0.793	-	-	-	-	-	-	-	27,066.53	115.20
3月	0.743	0.790	△ 25.5	△ 11.6	△ 39.5	△ 28.9	△ 40.3	△ 53.6	△ 30.0	26,584.08	118.51
4月	0.736	0.790	-	-	-	-	-	-	-	27,043.33	126.04
5月	0.729	0.787	-	-	-	-	-	-	-	26,653.77	128.78
6月	0.722	0.784	△ 19.6	△ 10.8	△ 28.5	△ 47.6	△ 29.6	△ 25.0	△ 18.7	26,958.39	133.86
7月	0.714	0.784	-	-	-	-	-	-	-	26,986.74	136.63
8月	0.710	0.779	-	-	-	-	-	-	-	28,351.67	135.24
9月	0.713	0.777	△ 21.0	△ 18.7	△ 23.3	△ 21.5	△ 25.4	△ 34.7	△ 8.1	27,418.99	143.14
10月	0.710	0.776	-	-	-	-	-	-	-	26,983.20	147.01
11月	0.700	0.775	-	-	-	-	-	-	-	27,903.32	142.44
12月	-	-	△ 20.8	△ 15.0	△ 26.2	△ 32.5	△ 31.0	△ 36.5	△ 3.3	27,214.69	135.04

区分	対前月(期)										
令和1年	△ 0.063	△ 0.040	-	-	-	-	-	-	-	△ 613.50	△ 1.41
2年	△ 0.010	△ 0.047	-	-	-	-	-	-	-	1,007.79	△ 2.26
令和3年	△ 0.003	△ 0.019	-	-	-	-	-	-	-	6,131.38	3.16
3年 III	△ 0.004	△ 0.005	-	-	-	-	-	-	-	△ 429.39	0.59
IV	0.007	△ 0.005	-	-	-	-	-	-	-	256.09	3.60
4年 I	△ 0.003	△ 0.005	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,653.76	2.62
II	△ 0.021	△ 0.006	-	-	-	-	-	-	-	△ 262.51	13.34
III	△ 0.009	△ 0.007	-	-	-	-	-	-	-	716.69	8.58
3年 8月	△ 0.005	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	△ 426.03	△ 0.45
9月	0.004	△ 0.002	△ 14.0	△ 10.8	△ 17.4	△ 11.6	△ 11.4	△ 9.0	△ 38.7	2,200.84	0.34
10月	0.000	0.000	-	-	-	-	-	-	-	△ 1,307.37	2.92
11月	0.003	△ 0.002	-	-	-	-	-	-	-	784.41	1.03
12月	0.004	△ 0.003	19.0	10.0	26.8	8.9	31.0	15.3	48.5	△ 856.38	△ 0.26
4年 1月	△ 0.003	0.001	-	-	-	-	-	-	-	△ 610.24	0.96
2月	0.001	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	△ 837.46	0.37
3月	△ 0.001	△ 0.003	△ 14.8	△ 9.9	△ 20.1	△ 6.7	△ 30.2	△ 18.9	△ 20.4	△ 482.45	3.31
4月	△ 0.007	0.000	-	-	-	-	-	-	-	459.26	7.53
5月	△ 0.007	△ 0.003	-	-	-	-	-	-	-	△ 389.56	2.74
6月	△ 0.007	△ 0.003	5.9	0.8	11.0	△ 18.7	10.7	28.6	11.3	304.62	5.08
7月	△ 0.008	0.000	-	-	-	-	-	-	-	28.35	2.77
8月	△ 0.004	△ 0.005	-	-	-	-	-	-	-	1,364.93	△ 1.39
9月	0.003	△ 0.002	△ 1.4	△ 7.9	5.2	26.1	4.2	△ 9.7	10.6	△ 932.68	7.90
10月	△ 0.003	△ 0.001	-	-	-	-	-	-	-	△ 435.79	3.87
11月	△ 0.010	△ 0.001	-	-	-	-	-	-	-	920.13	△ 4.58
12月	-	-	0.2	3.7	△ 2.9	△ 11.0	△ 5.6	△ 1.8	4.8	△ 688.63	△ 7.40
備考	(総合) 年・月末残ベース		前年同期と比較して、業況が「良化」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を減じた数値 (四半期末時点)							日経平均(225種) (期中平均値)	(期中平均値)
資料 出所	日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」 日本銀行「金融経済統計月報」		(公財)福島県産業振興センター「中小企業景気動向調査」							日本経済新聞社	日本経済新聞社

4 参考

1 中小企業景況景気動向（（公財）福島県産業振興センター）

概況：業況は横ばい。

先行きは製造業で横ばい、非製造業でわずかに悪化の見通し。

調査時点 令和5年1月調査（4年12月末時点）

対象企業 800社 回答企業482社（回答率：60.3%）

（製造業234社、建設業43社、卸売業71社、小売業74社、サービス業60社）

調査時期 四半期毎<3, 6, 9, 12月末時点>

DI (Diffusion Index) 値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、
良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

全産業

全産業の業況DI（▲20.8）は、前回（▲21.0）に比べ（0.2）ポイントの改善を示した。
業種別では製造業の業況DI（▲15.0）は、前回（▲18.7）に比べ（3.7）ポイントの改善を示した。
建設業の業況DI（▲32.5）は、前回（▲21.5）に比べ（11.0）ポイントの悪化を示した。
卸売業の業況DI（▲31.0）は前回（▲25.4）に比べ（5.6）ポイントの悪化を示した。
小売業の業況DI（▲36.5）は前回（▲34.7）に比べ（1.8）ポイントの悪化を示した。
サービス業の業況DI（▲3.3）は前回（▲8.1）に比べ（4.8）ポイントの改善を示した。

【3ヵ月先見通し】

〈業況〉今回＝令和4年12月末

全産業では今回（▲20.8）から3ヵ月先（▲24.5）と3.7ポイントの悪化を見通している。
製造業では今回（▲15.0）から3ヵ月先（▲15.3）と0.3ポイントの悪化を見通している。
建設業では今回（▲32.5）から3ヵ月先（▲41.9）と9.4ポイントの悪化を見通している。
卸売業では今回（▲31.0）から3ヵ月先（▲38.1）と7.1ポイントの悪化を見通している。
小売業では今回（▲36.5）から3ヵ月先（▲31.1）と5.4ポイントの改善を見通している。
サービス業では今回（▲3.3）から3ヵ月先（▲23.3）と20.0ポイントの悪化を見通している。

製造業

業況・売上・採算・資金繰り全てで横ばいを示した。

〈業況〉

- ・改善・・・・・・・・「電気機器」
- ・わずかに改善・・・「食料品」、「金属」、「精密機器」
- ・横ばい・・・・・・・・「織物」、「木材・木製品」、「印刷」、「窯業・土石」、「鉄鋼・非鉄」、
「一般機械」、「輸送用機器」
- ・わずかに悪化・・・「縫製」、「プラスチック」
- ・悪化・・・・・・・・「酒造」
- ・大幅悪化・・・・・・・・「ニット」

〈採算〉

- ・改善・・・・・・・・「電気機器」、「輸送用機器」、「精密機器」
- ・わずかに改善・・・「印刷」
- ・横ばい・・・・・・・・「織物」、「木材・木製品」、「窯業・土石」、「一般機械」
- ・わずかに悪化・・・「ニット」、「縫製」、「鉄鋼・非鉄」、「金属」、「プラスチック」
- ・悪化・・・・・・・・「食料品」、「酒造」

〈資金繰り〉

- ・改善・・・・・・・・「電気機器」、「輸送用機器」
- ・わずかに改善・・・「織物」、「縫製」、「窯業・土石」、「鉄鋼・非鉄」、「精密機器」
- ・横ばい・・・・・・・・「酒造」、「金属」
- ・わずかに悪化・・・「食料品」、「ニット」、「木材・木製品」、「印刷」、「一般機械」、
「プラスチック」

【3ヵ月先見通し】

採算でわずかに改善、業況・売上・資金繰りで横ばいを見通している。

〈業況〉

- ・改善・・・・・・・・「プラスチック」
- ・わずかに改善・・・「食料品」、「酒造」、「木材・木製品」、「鉄鋼・非鉄」、「一般機械」
- ・横ばい・・・・・・・・「織物」、「印刷」、「窯業・土石」、「金属」
- ・わずかに悪化・・・「縫製」、「輸送用機器」
- ・悪化・・・・・・・・「ニット」、「電気機器」、「精密機器」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「酒造」、「木材・木製品」、「印刷」、「鉄鋼・非鉄」、「金属」、「一般機械」
- ・横ばい・・・・・・・・「食料品」、「ニット」、「精密機器」、「プラスチック」
- ・わずかに悪化・・・「織物」、「縫製」、「窯業・土石」、「輸送用機器」
- ・悪化・・・・・・・・「電気機器」

「資材価格や人件費は上昇しているが、加工賃は上がりず経営は厳しい状況です。」、「コロナの影響で、工場が予定通りに稼働出来ない。」、「人手不足の為、生産が進まない。」、「震災前より悪化している。」、「電気料金の大幅アップがかなり負担となっている。来年も厳しい状況が続くと思われる。」、「材料、資材、光熱費、全て天井知らずに上がっており、特に材料費及び電力料の急上昇は大きい。自助努力の範疇は既に超えている。」、「価格転嫁を上手くしないと、社員の給与が上げられない。」、「来春の賃上げ、価格転嫁など懸念材料がある。」、「材料（特に樹脂）の一部に入手困難なものがある。」、「電力費の高止まりと新規の受注が止まり、赤字が続いています。」、「仕事量は増加傾向にあるが、先行不透明な部分もある。」、「半導体を中心とした部品の供給不足が解消してきており、顧客からの受注が急増している。」との声があった。

建設業

売上・採算・資金繰りで横ばい、業況でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・横ばい・・・・・・・・「土木」
- ・わずかに悪化・・・「建築」

〈採算〉

- ・わずかに改善・・・「建築」
- ・わずかに悪化・・・「土木」

〈資金繰り〉

- ・横ばい・・・・・・・・「建築」
- ・わずかに悪化・・・「土木」

【3ヵ月先見通し】

売上・採算・資金繰りで横ばい、業況でわずかに悪化を見通している。

〈業況〉

- ・横ばい・・・・・・・・「建築」
- ・わずかに悪化・・・「土木」

〈資金繰り〉

- ・横ばい・・・・・・・・「土木」、「建築」

「賃上げに苦慮している。」、「人手不足」、「発注者から安全対策についての注文があり、労災防止のための費用や作業員の負担が大きい。」、「資材及び燃料、何もかもが値上がりしている中、お客様に対して値上げはできない。企業努力の限界を超えている。」、「商品によっては半導体の不足で入荷の遅れが気になる所です。」との声があった。

卸売業

採算・資金繰りで横ばい、業況・売上でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・改善・・・・・・・・「建築材料」、「その他」
- ・横ばい・・・・・・・・「飲食料」
- ・わずかに悪化・・・「青果物」
- ・悪化・・・・・・・・「衣服」、「機械器具」
- ・大幅悪化・・・・・・「鮮魚」

〈採算〉

- ・改善・・・・・・・・「建築材料」、「その他」
- ・横ばい・・・・・・・・「飲食料」、「青果物」
- ・わずかに悪化・・・「衣服」
- ・悪化・・・・・・・・「鮮魚」、「機械器具」

〈資金繰り〉

- ・改善・・・・・・・・「建築材料」
- ・横ばい・・・・・・・・「飲食料」、「青果物」、「鮮魚」、「その他」
- ・わずかに悪化・・・「機械器具」
- ・悪化・・・・・・・・「衣服」

【3ヵ月先見通し】

採算でわずかに改善、売上・資金繰りで横ばい、業況でわずかに悪化を見通している。

〈業況〉

- ・改善・・・・・・・・「衣服」
- ・横ばい・・・・・・・・「青果物」、「鮮魚」
- ・わずかに悪化・・・「飲食料」、「機械器具」、「建築材料」
- ・悪化・・・・・・・・「その他」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「飲食料」
- ・横ばい・・・・・・・・「衣服」、「青果物」、「鮮魚」、「建築材料」
- ・わずかに悪化・・・「機械器具」、「その他」

「人口減少や小売店の減少が課題となっている。」、「家畜の餌の値段がコロナ禍前の2倍に上がっている。」、「農業人口が減る一方なので、今後業績は悪くなる見込み。」、「年末を迎えるも、急激な消費低迷。」、「コロナや物価高の影響がある。」、「人件費、電気代、仕入価格全てが上昇し、収益をかなり圧迫している。結果、良い人材を採用出来ず、思い切った攻めの経営が出来ない。長期的な政策に期待したい。」といった声があった。

小売業

業況・資金繰りで横ばい、売上・採算でわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・改善・・・・・・・・「自動車販売」、「家具・建具」
- ・わずかに改善・・・「中小スーパー」
- ・横ばい・・・・・・・・「飲食料」、「家電品」
- ・わずかに悪化・・・「衣料」
- ・悪化・・・・・・・・「その他」

〈採算〉

- ・改善・・・・・・・・「自動車販売」
- ・横ばい・・・・・・・・「飲食料」
- ・わずかに悪化・・・「中小スーパー」、「家電品」
- ・悪化・・・・・・・・「衣料」、「家具・建具」、「その他」

〈資金繰り〉

- ・改善・・・・・・・・「衣料」
- ・わずかに改善・・・「中小スーパー」、「家電品」、「その他」

- ・横ばい・・・「自動車販売」
- ・わずかに悪化・・・「飲食料」
- ・悪化・・・「家具・建具」

【3ヵ月先見通し】

業況・売上・採算・資金繰り全てでわずかに改善を見通している。

〈業況〉

- ・改善・・・「家具・建具」、「その他」
- ・わずかに改善・・・「自動車販売」
- ・わずかに悪化・・・「中小スーパー」、「衣料」、「飲食料」、「家電品」

〈資金繰り〉

- ・大幅改善・・・「家具・建具」
- ・わずかに改善・・・「中小スーパー」、「飲食料」
- ・横ばい・・・「衣料」、「自動車販売」
- ・わずかに悪化・・・「家電品」、「その他」

「仕入単価、諸経費が軒並み上昇し、利益が出にくい状況にある。」、「ロシアのウクライナ侵攻が終わらない限り、悪化が続きそうです。」、「現在は繁忙期のため売上は高いが、前年比ではやや厳しい。春以降の景気を注視したい。」、「仕入価格の上昇を売価に転嫁できない。」、「求人募集をかけても人が集まらない。」、「企業の撤退、廃業が多く、売上は徐々に減っている。」といった声があった。

サービス業

業況・売上・採算で横ばい、資金繰りでわずかに悪化を示した。

〈業況〉

- ・改善・・・「運送」、「自動車整備」
- ・わずかに改善・・・「情報サービス」
- ・わずかに悪化・・・「タクシー」、「その他」
- ・悪化・・・「観光旅館」

〈採算〉

- ・わずかに改善・・・「運送」、「自動車整備」
- ・横ばい・・・「タクシー」
- ・わずかに悪化・・・「情報サービス」、「その他」
- ・悪化・・・「観光旅館」

〈資金繰り〉

- ・横ばい・・・「情報サービス」
- ・わずかに悪化・・・「運送」、「自動車整備」、「その他」
- ・悪化・・・「観光旅館」、「タクシー」

【3ヵ月先見通し】

採算・資金繰りで横ばい、業況・売上でわずかに悪化を見通している。

〈業況〉

- ・横ばい・・・「自動車整備」、「その他」
- ・わずかに悪化・・・「タクシー」、「運送」、「情報サービス」
- ・大幅悪化・・・「観光旅館」

〈資金繰り〉

- ・わずかに改善・・・「情報サービス」、「その他」
- ・横ばい・・・「観光旅館」、「タクシー」、「自動車整備」
- ・わずかに悪化・・・「運送」

「全国旅行割の施行により、宿泊単価・宿泊数が維持できています。9月～11月時点での売上高は、コロナ前の70%強に回復しています。」、「コロナによって状況は大きく変わる。」、「円安・原油高が経営に大きく影響している。」、「燃料やタイヤ、車両などの経費が上がっている。」といった声があった。

2 中小企業景況レポート（福島県中小企業団体中央会） 1 2 月分

食品製造業

（1）漬物：電気・ガスだけで無く、資材や原材料等が次々と値上げされ、原価が分からない状況になっている。

（2）菓子：売上は昨年並みであり、売価は上がっているが客数は減少している。原価高騰が止まらない状況となっている。

（3）乾麺：電気料金の大幅な値上げに加え、資材等の値上げも続いている状況。

（4）酒造：イベントの増加、3年ぶりに規制のない年末を迎えるなど、出荷数も戻りつつあるように感じられる。出荷品目も、吟醸、純米吟醸、純米等の酒が出ており、以前の状態に近づいている。これからは、帰省客や全国旅行割の利用者が増えることもあり、活気ある1年を期待したい。

（5）食品団地：原油と原材料等価格の高止まりで生産稼働に大きな影響が出ている。ただ、帰省等は回復傾向となっており、お土産等の売上は増加している。

繊維工業

（6）ニット：企業によっては受注が増えてきているが、全体的にはまだまだ先行きは不透明となっている。

（7）縫製業：受注量は好転しているが、人員の不足により対応しきれない状況が続いている。今後どこまで生産量を増やせるかが課題である。

木材・木製品製造業

（8）製材業：木材需要を大きく占める新設住宅着工戸数については、年間計でも前年を下回る見込みで、建築資材の高騰等による持ち家着工の不振は続いており、製品の引き合いは弱く価格は横這い。

印刷

（9）印刷業：年賀状を含め、年末特有の受注が減少傾向である。ペーパーレス化の伸展による経費削減、原材料価格の高騰、エネルギーコストの増加等から受注量の減少に至っている。

窯業・土石製品

（10）生コン：令和4年12月の生コン出荷数量は、92,371 m³と対前年同月比-10.8%。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比+1.7%、官公需が-22.6%であった。

○民需の動向

対前年同月比 + 1.7%

対前年同月比増加地区

県中地区	: + 4.7%	マンション工事、特老ホーム新築工事等
いわき地区	: + 24.1%	風力発電所工事等
相双地区	: + 60.3%	海水取放水設備設置工事等

対前年同月比減少地区

県北地区	: - 4.7%	新幹線構内アプローチ工事等
白河地区	: - 41.2%	工場新築工事等
会津地区	: - 14.7%	太陽光発電所工事等

○官公需の動向

対前年同月比 - 22.6%

対前年同月比増加地区

該当なし

対前年同月比減少地区

県北地区	: - 6.5%	学校校舎等改築工事、河川災害関連工事等
県中地区	: - 37.7%	跨線橋新設工事等
白河地区	: - 30.0%	砂防工事等
いわき地区	: - 27.1%	河川災害復旧工事等
相双地区	: - 7.6%	公営災害住宅等整備工事等
会津地区	: - 33.6%	トンネル舗装工事等

(11) 鉄工業(郡山地区) : 人材不足がこれまで以上に顕著化している。欠員が出て補充することが非常に困難となっている。益々、ロボット化や合理化を進めていかなければ厳しい状況となってくる。

(12) 鉄構業 : 前月同様の動きであり、材料費の高騰が止まらない。中小物件の鉄骨等についても、なかなか金額がまとまらない状況となっている。

その他の製造業

(13) 漆器 : 百貨店の動きは全くない。人の動きは鈍いものの、ネット注文を含め客単価は高かった。インバウンドの動きも出てきている状況。

卸売業

(14) 再生資源 : 古紙の市中回収量は年末期で増加したものの、内外向けともに需要が減少し厳しい状況である。鉄スクラップは輸出価格が上昇し、強気展開である。非鉄金属は為替が円高に転じたことで、今後の輸出環境の変化を注視する必要がある。

(15) 米麦 : 新型コロナウイルス感染者数が依然として多いにもかかわらず、外食産業の需要が昨年より上向いているため米価は上がり取引も活発化してきた。

小売業

(16) 共同店舗(〇ショッピングセンター)：年末は行動制限がなく、帰省客の増加を肌で感じられた。正月の準備品等の需要及び地域のプレミアム商品券が出回り、売上に拍車がかかったように思う。12月は特需ということもあり、売上が増加しても喜べない。今後も継続して売上が伸びることを期待したい。

(17) 共同店舗(Nショッピングセンター)：年末需要で前月比は増加した。前年比は不変であるが、コロナ禍以前には戻っていない。電気・ガスの高騰で収益は悪化している。

(18) 石油：12月のWTI原油先物価格は、米国の石油製品在庫が大幅な増加、中国のゼロコロナ政策の大幅な緩和等から80ドル台で推移。SS店頭平均価格は、ガソリン167.9円、軽油148.0円、灯油18ℓあたり2,000円と軟化した。

(19) 水産物：行動制限のない年末ということもあり注文は増加したものの、引き続き魚の入荷は少なく、価格も安定しない状況である。年明けの新型コロナウイルス感染者数の増加を懸念している。

(20) 家電：年末にかけて家電メーカーの価格改定の動きがあり、商品によっては3割近く値上げとなるケースもあった。国内出荷動向では、出荷台数は同等ながら金額は上回っており、値上げの影響が出ている。

商店街

(21) 商店街(福島市)：若者が若干戻ってきたと感じられる。しかし、それは年末の帰省客であり、継続して増加することはない。とても厳しい状況となっている。

(22) 商店街(会津若松市)：歳末の抽選セールは例年並みの盛り上がりだった。県の「買って応援キャンペーン」の追加販売があり利用数が増加した。来年度に期待したい。

(23) 商店街(南相馬市)：年末年始の市をあげての消費喚起事業が終了した。年末は商店街で多くの商品券が使用され、商店街の経済効果の上々としている。前年比で売上がプラスとなる店も増えると思われる。

サービス業

(24) クリーニング：例年同様、年末のクリーニング需要を期待するも低調のままだった。あらゆる物が値上げされる中、消費者にとってクリーニング支出は後回しとなっている。

(25) 温泉旅館(福島市)：全国旅行支援が1月から再開されるが、割引率が下がることから先行きが不透明である。旅行業界においては、慢性的な人材不足が課題となっている。インバウンドについては、少しずつ問い合わせが増えており、成果に結びつけたい。

(26) 温泉旅館(いわき市)：全国旅行支援で宿泊やクーポン利用客で賑わっているが、原材料費等高騰のため利益率は減少している。忙しさに波があり、人手不足の解消が難しい。

(27) 理容業：生活必需品の高騰や新型コロナウイルス感染者の増加により、まだまだ活発な動きはない状況となっている。

(28) 一般廃棄物運搬：企業が行っている浄化槽の保守点検及び清掃について、長期的には人口減少による業務量の減少が懸念される。短期的には、浄化槽設置数に大きな変化が無いため一定している。事業規模についても大きな変化は無く、時期を見た設備更新程度である。現在、従業員の高齢化が進んでおり、長期的な視点に立っての人員確保が課題となっている。また、原材料価格が高騰しており、清掃料金等の改定を検討している状況。

建設業

(29) 建設業（県南地区）：土木工事の発注が少なくなってきており、手持ち工事終了後の受注見通しが良くない。民間建築工事は資材高により計画の中止や見合わせているものがある。資材の値上がり設計価格に反映されてきているが、更に値上げとなるものもある。

(30) 電気工事（いわき地区）：電気工事の受注量は全体的に減少傾向となっている。器具・部材納入の遅延により、工期完工期日が今年度後期に集中したことで人材不足が継続している。販売資材の仕入価格は、再度値上げが行われ、収益が悪化傾向である。今後の電気料金値上げによって、経費・製造原価上昇が見込まれ、資材価格・製品価格の更なる上昇が見込まれている。

(31) 管工事（県北地区）：前月比で給水設備申請が増加し、排水設備申請は減少した。前年同月累計対比では、給水・排水設備申請とも減少している。

(32) 専門工事：新型コロナウイルスに関する行動制限が緩和されている一方で、感染状況自体は想定以上に芳しくない。また、賃上げに関しては、物価・価格上昇による収益悪化を懸念して足並みが揃わない状況となっている。

(33) 電気通信工事：先々の景況感にプラス要因を見いだすことが難しい月となった。

運輸業

(34) トラック団地（県北）：年間を通して燃料だけでなく経費増が続き、収益の確保が難しい年となった。

(35) タクシー（県北）：年末はタクシー利用が増加したが、相変わらず夜の飲会関係が伸びず、売上が伸びない要因となっている。

3 景気動向指数(福島県)

概 括

11月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数112.1ポイント、一致指数78.1ポイント、遅行指数104.2ポイントとなった。

先行指数は、前月(112.2ポイント)を0.1ポイント下回り、3か月連続の下降となった。

一致指数は、前月(80.8ポイント)を2.7ポイント下回り、2か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月(110.5ポイント)を6.3ポイント下回り、4か月振りの下降となった。

図1 景気動向指数(CI)グラフ <一致指数> (H27=100)



※CI(Composite indexes) : 景気変動の勢いや大きさといった、景気の強弱を定量的に計測する指数であり、採用系列の変化率(前月比)を合成して作成。

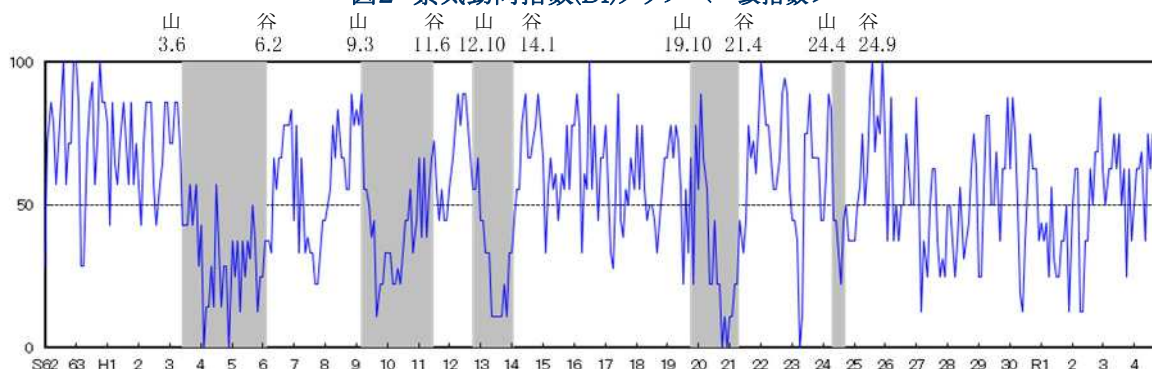
※グラフ上の景気基準日付のうち、シャドウ部分は景気後退期を示している。

CI指数表

区 分	景 気 動 向 指 数 (CI指数)					
	福島県(令和5年1月31日公表)			全 国(令和5年1月11日公表)(速報値)		
年 月	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
R4年6月	109.7	75.1	100.7	100.5	99.2	97.6
7月	113.8	77.0	96.6	99.3	99.8	97.3
8月	115.5	77.9	103.5	101.6	101.3	98.7
9月	113.8	81.7	103.6	98.2	100.8	99.0
10月	112.2	80.8	110.5	98.6	99.6	99.2
R4年11月	112.1	78.1	104.2	97.6	99.1	100.9
採用指標数	7指標	8指標	5指標	11指標	10指標	9指標
資 料	県:統計課「福島県景気動向指数」					
出 所	国:内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」					

※一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

図2 景気動向指数(DI)グラフ <一致指数>



※DI(Diffusion Indexes) : 景気局面とその転換点の把握を目的として、採用系列の変化の方向(3か月前比)を合成して指数を作成。

おおむね3か月連続して50%を上回っていれば景気拡張局面、下回っていれば景気後退局面と判断される。

【景気基準日付設定～第15景気循環～】

本県の第15景気循環の山を「平成24年4月」、谷を「平成24年9月」と設定した。

景気拡張期間は36か月、景気後退期間は5か月となり、全循環は41か月となった。

4 「福島県金融経済概況」

令和5年1月19日 日本銀行福島支店

県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、半導体不足の影響が和らいでおり、緩やかに持ち直している。

(先月:新型コロナウイルス感染症の影響が幾分強まっている中、半導体不足の影響が和らいでおり、緩やかに持ち直している。)

県内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、半導体不足の影響が和らいでおり、緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、持ち直している。住宅投資は、減少している。設備投資は、増加している。公共投資は、下げ止まっている。鉱工業生産は、半導体不足の影響が和らいでおり、緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症や物価上昇による個人消費への影響、半導体不足による生産面への影響、また雇用・所得の動向に注意していく必要がある。

5 「月例経済報告」

令和4年12月21日 内閣府

一景気は、緩やかに持ち直している。

(先月:景気は、緩やかに持ち直している。<前月据え置き>)

(基調判断)

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ・ 企業収益は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は、持ち直している。
- ・ 消費者物価は、上昇している。

先行きについては、ウイズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染動向に十分注意する必要がある。

(政策態度)

足下の物価高などの難局を乗り越え、未来に向けて日本経済を持続可能で一段高い成長経路に乗せ、日本経済の再生を図るべく、「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」(10月28日閣議決定)及びそれを具体化する令和4年度第2次補正予算について、進捗管理を徹底し、迅速かつ着実に実行する。

また、「令和5年度予算編成の基本方針」(12月2日閣議決定)や今後策定する「令和5年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」も踏まえ、令和5年度政府予算案を取りまとめる。

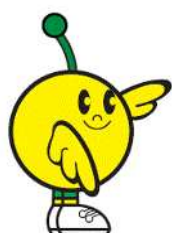
今後とも、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を一体的に進める経済財政運営の枠組みを堅持し、民需主導の自律的な成長とデフレからの脱却に向け、経済状況等を注視し、躊躇なく機動的なマクロ経済運営を行っていく。

日本銀行には、経済・物価・金融情勢を踏まえつつ、2%の物価安定目標を持続的・安定的に実現することを期待する。

6 「最近の県経済動向」総合判断

総合判断	判断の 変化方向	12月(12月26日公表)	判断の 変化方向	1月(1月31日公表)
	前月据置 →	県内の景気は、先行きに不透明感がみられるものの、緩やかに持ち直している。	前月据置 →	県内の景気は、先行きに不透明感がみられるものの、緩やかに持ち直している。

「最近の県経済動向」はホームページでも御覧いただけます。



ふくしま統計情報BOX

検索

■ 御利用にあたって ■

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に資するよう、県内の経済状況をマクロ的観点から簡潔に概況を述べ、視覚的にもとらえやすくできるようグラフも併せて示しています。

採用している経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して29の指標を選んで、全国の推移状況とも比較できるようにしています。さらに、福島県景気動向指数の要点をグラフで示しています。一部の計数は速報値を用いており、確報訂正や遡及改定により、前回発表の計数と相違する場合があります。

また、参考として県内の景況感に県民の生の声を反映させることを目的に、(公財)福島県産業振興センターの中小企業景気動向調査結果(四半期公表)や福島県中小企業団体中央会が行っている「中小企業景況レポート」(月次公表)を掲載しております。さらに、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」の中から毎月の概要を抜粋して掲載しております。

■ お願い ■

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、福島県統計課 『最近の県経済動向』から抜粋(又は作成)した旨を明記してください。

福島県企画調整部統計課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話 024(521)7148 内線 (2432)

FAX 024(521)7914

E-mail toukei@pref.fukushima.lg.jp